

設 計 書

道路メンテナンス事業	課 長		課 長 補 佐		課 長 補 佐		係 長		審 査 者		設 計 者	
年 月 日	令和 7 年 月 日						工 事 概 要	小麦橋 橋長 L=6.7m 断面修復工 1式 ひび割れ補修工 1式 表面含浸工 1式 水切り設置工 1式 舗装工 1式 橋面防水工 1式 嵩上げ高欄工 1式 橋名板取付工 1式 伸縮装置工 1式 仮設工 1式				
工 事 番 号	第 号											
河 川 名 路 線 名	市道大角線 小麦橋											
施 行 位 置	阿久根市 大川 地内											
工 事 名	令和7年度 道路メンテナンス事業 小麦橋修繕工事											
工 期	160日間	施 行 方 法		直 営 ・ 請 負								
支 出 科 目	年 度	会 計		款		項	目		節			
	区 分		金 額				摘 要					
	設 計 額		円									
其 の 他	本橋梁は1957年に架設され、供用年数は68年になる。老朽化に伴い、上部工（主桁・床板・横桁）や下部工（躯体）、防護柵（Co）、舗装等に損傷が生じており、橋梁の劣化が著しく危険な現状下にある。そこで、橋梁詳細点検並びに橋梁長寿命化修繕計画に基づき、本橋梁の機能回復を図るべく補修工事を実施するものである。											

費 用	金 額	備 考
事 業 費	円	
工 事 費	円	
本 工 事 費	円	工事価格 円 消費税 相当額 円
附 帯 工 事 費		
測 量 及 び 試 験 費		
用 地 費 及 び 補 償 費		
換 地 諸 費 又 は 権 利 交 換 諸 費		
事 務 費		
事 務 雑 費		
工 事 雑 費		

工 事 設 計 書		
設計書総括情報		
事 務 所 名	阿久根市	
設 計 書 名	実施設計書	
事 業 名		
積算総括情報		
諸 経 費 体 系	A 公共	
適用単価区分	1 実施単価	
単価適用地区	31 北薩③	
単 価 適 用 日	0 令和 7年 7月 1日	
積算条件／諸経費情報	【 当 世 代 】	【 前 世 代 】
前払率 (%)	4 0 %	
工種	1 2 橋梁保全	
施工地域	0 3 一般影響有り(2)現道4工種	
現場環境改善費	0 2 計上有り (市街地以外)	
消費税税率	0 4 消費税税率：1 0 %	
契約保証	0 1 金銭的保証を要す	

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						X1000
小麦橋	レベル 1					Y2E000000
			式			
補修工	レベル 2					Y2E010000
			式			
断面修復工	レベル 3					Y2E010100
			式			
構造物断面補修工（左官工法） 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 有・無併用 0.689m3/構造物 ポリマーセメントモルタル						V0009 0
		1	構造物			施工内訳0-0001号表
構造物とりこわし工 無筋構造物 機械施工 対策 不要						S7031 0
		1	m 3			施工内訳0-0002号表
鉄筋加工・組立（一般構造物） D 1 6 ～ 2 5 mm, S D 3 4 5 1 0 t 未満						S8400 0
		0.05	t			施工内訳0-0003号表
殻運搬コンクリート（無筋）構造物とりこわし 運搬距離14.4km超18.5km以下, DID無し 機械積込						SQZ101 0
		1	m3			施工内訳0-0004号表
処分費（直工内）						#0042

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
産業廃棄物受入料 コンクリート塊（無筋） 産業廃棄物税上乗せ相当額を含む C=2300	1	m3			S9910 0 *
ひび割れ補修工 レベル 3		式			施工内訳0-0005号表 Y2E010100
構造物ひび割れ補修工（低圧注入工法） 補修延長 1m F=4500 H=2630 J=490	1	構造物			S3380 0 施工内訳0-0006号表
構造物ひび割れ補修工（充てん工法） 補修延長 0.65m D=5940	1	構造物			S3380 0 施工内訳0-0007号表
表面含浸工 レベル 3		式			Y2E010100
下地処理工 サnderケレン 100m2未満	44	m2			V0008 0 施工内訳0-0008号表
含浸材塗布 施工規模100m2未満 シラン系	44	m2			V0001 0 施工内訳0-0009号表
表面含浸材 シラン系 アクアシル1400 10kg/缶 0.2kg/m2*1.1(ロス)	1	缶			F0001 0
水切り設置工 レベル 3		式			Y2E010100

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	水切設置工 軟質PVC 水切りアイトリップ						V0002 0
		14	m				施工内訳0-0010号表
舗装工	レベル 3						Y2E010100
			式				
	アスファルト舗装版切断 アスファルト舗装版厚15cm以下						SQZ185 0
		7	m				施工内訳0-0011号表
	アスファルト舗装版破碎 舗装版厚15cm以下，障害等無し 振動騒音対策不要 積込作業有り						SQZ184 0
		35	m ²				施工内訳0-0012号表
	表層(車道・路肩部)W=3.0m超 t =40mm，密粒度ギャップ As(新材) 密度 2.35 t /m3，タックコート PK-4 As合材 200 t 未満/工事(通常時間帯)						SQ155 0
		24	m ²				施工内訳0-0013号表
	基層(車道・路肩部)W=3.0m超 t =30mm，密粒度As(再生) 密度 2.35 t /m3，タックコート PK-4 As合材 200 t 未満/工事(通常時間帯)						SQ155 0
		12	m ²				施工内訳0-0014号表
	表層(車道・路肩部)W=3.0m超 t =50mm，密粒度As(再生) 密度 2.35 t /m3，プライムコート PK-3 As合材 200 t 未満/工事(通常時間帯)						SQ155 0
		11	m ²				施工内訳0-0015号表
	殻運搬舗装版破碎 運搬距離17.0km超28.5km以下，DID無し 機械積込(小規模土工)						SQZ101 0
		2	m3				施工内訳0-0016号表
処分費(直工内)							#0042

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
産業廃棄物受入料 アスファルト塊（掘削） 産業廃棄物税上乗せ相当額を含む C=1500	2	m ³			S9910 0 *
橋面防止工 レベル 3		式			施工内訳0-0017号表 Y2E010100
橋面防水工（塗膜系） 補修 C=0 E=0	24	m ²			S8530 0
嵩上げ高欄工 レベル 3		式			施工内訳0-0018号表 Y2E010100
はつり工 6cmを超え9cm以下 排出ガス対策型（第1次基準値）	2	m ²			V0003 0
不陸調整工 ポリマーセメントモルタル	0.04	m ³			施工内訳0-0019号表 V0004 0
嵩上げ高欄設置工 組立式 施工量100m未満	14	m			施工内訳0-0021号表 V0006 0
支柱アンカー 形式 B型（穿孔アンカー方式） 支柱間隔2m，設置高さ4m以下 支柱アンカー（材料費）含まず	14	m			施工内訳0-0022号表 SQZ437 0
高欄 タイプ A DSK-N-K2SP-55LSWT SP種 角ビーム2本 H=550 鉄筋回避仕様	10	m			施工内訳0-0023号表 F0003 0

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高欄 タイプB DSK-N-K3SP-88LSWT SP種 角びー43本 H=880 鉄筋回避仕様	4	m			F0004 0
樹脂カプセル ARケミカルセッター SUPER LL AP AP-20 (φ20, L195, ガラス管)	28	本			F0006 0
殻運搬コンクリート(無筋)構造物とりこわし 運搬距離14.4km超18.5km以下, DID無し 機械積込	0.1	m3			SQZ101 0 施工内訳0-0004号表
処分費(直工内)					#0042
産業廃棄物受入料 コンクリート塊(無筋) 産業廃棄物税上乗せ相当額を含む C=2300	0.1	m3			S9910 0 *
橋名板取付工 レベル3		式			施工内訳0-0024号表 Y2E010100
橋名板等取付 200×300×13(ブロンズ)	4	枚			SQ176 0 施工内訳0-0025号表
伸縮装置工 レベル3		式			Y2E010100
アスファルト舗装版切断 アスファルト舗装版厚15cm以下	14	m			SQZ185 0 施工内訳0-0011号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	アスファルト舗装版破碎 舗装版厚15cm以下，障害等無し 振動騒音対策不要 積込作業有り					SQZ184 0
		0.4	m ²			施工内訳0-0012号表
	伸縮装置目地補修工(ゴム劣化取替工法) SMジョイント工法Ⅱ型 幅50mm×深さ平均55mm					F0005 0
		7.2	m			
	殻運搬舗装版破碎 運搬距離17.0km超28.5km以下，DID無し 機械積込(小規模土工)					SQZ101 0
		0.02	m ³			施工内訳0-0016号表
処分費(直工内)						#0042
	産業廃棄物受入料 アスファルト塊(掘削) 産業廃棄物税上乗せ相当額を含む C=1500					S9910 0 *
		0.02	m ³			施工内訳0-0026号表
仮設工	レベル2					Y291A0000
			式			
足場工	レベル3					Y2E010100
			式			
	足場工(板張防護含む) 桁高 1.5m未満 供用2ヶ月					S3354 0
		24	m ²			施工内訳0-0027号表
	朝顔 両側設置 供用2ヶ月					S3354 0
		9	m ²			施工内訳0-0028号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
朝顔部防護工 シート張防護 両側設置 供用2ヶ月						S3354 0
	9	m ²				施工内訳0-0029号表
大型土のう工						Y3002
大型土のう製作・据付 作業半径 6m以下 耐候性：許容重量 2 tタイプ 短期仮設型(1年)	18	袋				S1899 0
						施工内訳0-0030号表
大型土のう撤去 作業半径 6m以下	18	袋				S1899 0
						施工内訳0-0032号表
＊＊直接工事費＊＊						
技術管理費			式			Z0006
極小規模鉄筋探查工 0.62m2 下向き	0.6	m2				V0005 0
						施工内訳0-0034号表
現場環境改善費			式			Z0010
共通仮設費（ 率分）			式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
** 共通仮設費計 **						
** 純工事費 **						
現場管理費						
			式			
** 現場管理費計 **						
** 工事原価 **						
一般管理費						
			式			
契約保証費						
			式			
** 一般管理費等計 **						
** 工事価格 **						

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
消費税相当額							
				式			
請負工事費							
工事価格計							
消費税相当額計							
				式			
請負工事費計							

構造物断面補修工（左官工法）
鉄筋^ケン・鉄筋防錆処理 有・無併用

V0009
0.689m3/構造物 ポリマーセメントモルタル

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0001号表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	15.85	人			R2500 1
特殊作業員	26.18	人			R0100 1
普通作業員	17.23	人			R0200 1
ポリマーセメントモルタル 無収縮	0.813	m3			T0815
諸雑費	11	%			#01
*** 単位当り計 ***	1	構造物			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物とりこわし工 無筋構造物 [手間] 機械施工 時間的制約 無し 昼間単価	100.00	m 3			TC191
諸雑費	1	式			#20
*** 合 計 ***	100	m 3			
*** 単位当り計 ***	1	m 3			
A=1 無筋構造物 C=1 不要 E=1 無し			B=1 機械施工 D=1 昼間単価 F=1 VI-1-④-1		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋加工・組立 一般構造物	1.00	t			T8100
異形鉄筋（S D 3 4 5） D 1 6 ～ 2 5 mm	1.03	t			T0674
*** 単位当り計 ***	1	t			
A=3 異形鉄筋 1 6 ～ 2 5 mm C=2 一般構造物 E=1 トンネル外作業			B=2 S D 3 4 5 D=2 1 0 t 未満 F=1 法面作業でない		
G=1 時間的制約なし I=2 5 0 t 未満 K=1 水替なし又は災害査定			H=1 通常時間帯 J=1 太径鉄筋無し又は、割合 1 0 %未満 L=1 VI-2-①-1		

殻運搬コンクリート(無筋)構造物とりこわし
運搬距離14.4km超18.5km以下, DID無し
機械構成比: 労務構成比:

SQZ101
機械積込

材料構成比:

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0004号表

1
標準単価:

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む			ダンプトラック 10 t 積級 オンロード・ディーゼル タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む		M1011P
運転手 (一般)			運転手 (一般)		R1500
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
A=1 C=1 E=1 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 無し II-2-25-1			B=1 D=56 機械積込 14.4km超18.5km以下		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
産業廃棄物受入料	1.00	m3			
*** 単位当り計 ***	1	m3			
A=3 コンクリート塊（無筋） C= 受入料金（円／単位）			B=1 m3当り		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.50	人			R2500 1
特殊作業員	2.40	人			R0100 1
普通作業員	1.80	人			R0200 1
注入材	0.03	kg			
シール材	0.19	kg			
低圧注入器具	4.00	個			
諸雑費	6.00	%			#01
*** 単位当り計 ***	1	構造物			
A=2 低圧注入工法 E=0.027 注入材使用数量 [kg／構造物] ※ロス率含む G=0.14 シール材設計数量 [kg／構造物]			B=1 1 構造物当り補修延べ延長 F= 注入材 単価 [円／kg] H= シール材 単価 [円／kg]		[m／構造物]
I=4 注入器具使用数量[個／構造物] ※ロス率含む K=1 II-2-㊸-1, 4			J= 注入器具 単価 [円／個]		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.85	人			R2500 1
特殊作業員	1.30	人			R0100 1
普通作業員	1.10	人			R0200 1
充てん材材料費	0.16	kg			
諸雑費	17.00	%			#01
*** 単位当り計 ***	1	構造物			
A=1 充てん工法 C=0.135 充てん材設計数量 [kg／構造物] K=1 II-2-⑨-1, 4			B=0.65 1 構造物当り補修延べ延長 D= 充てん材 単価 [円／kg]		[m／構造物]

下地処理工
サンダーケレン 100m2未満

V0008

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0008号表

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.9	人			R2500 1
特殊作業員	7.7	人			R0100 1
諸雑費	2	%			#01
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当り計 ***	1	m2			

含浸材塗布
施工規模100m2未満 シン系

V0001

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0009号表

50 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1	人			R2500 1
普通作業員	2.5	人			R0200 1
諸雑費	10	%			#01
*** 合 計 ***	50	m2			
*** 単位当り計 ***	1	m2			

水切設置工
軟質PVC 水切りアイドリップ

V0002

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0010号表

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1	人			R2500 1
普通作業員	3	人			R0200 1
水切りアイドリップ 軟質PVC 接着剤含む	100	m			F0002
諸雑費	15	%			#01
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			

アスファルト舗装版切断
アスファルト舗装版厚15cm以下
機械構成比：

SQZ185

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0011号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：
1 m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音)・湿式] 切削深20cm級 ブレード径56cm			コンクリートカッター [バキューム式(超低騒音型)・湿式] 切削深20cm級 ブレードφ56cm		M4737P
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員			特殊作業員		R0100
土木一般世話役			土木一般世話役		R2500
普通作業員			普通作業員		R0200

アスファルト舗装版切断
アスファルト舗装版厚15cm以下
機械構成比：

SQZ185

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0011号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：
1

m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
その他 (労務)			その他 (労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 4 5 cm			コンクリートカッタ (ブレード) 径 1 8 インチ		T0094
ガソリン			ガソリン レギュラー スタンド		T0001
その他 (材料)			その他 (材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001

アスファルト舗装版切断
アスファルト舗装版厚15cm以下
機械構成比：

SQZ185

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0011号表

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：
1

m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
*** 単位当り計 ***					
A=1 アスファルト舗装版 E=1 IV-3-③-1			B=1 15cm以下		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ賃料(後方超小旋回) 山積0.45 m3			バックホウ クローラ型 後方超小旋回型 山積0.45 m3		T0478
土木一般世話役			土木一般世話役		R2500
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		R1400
普通作業員			普通作業員		R0200
軽油			軽油 パトロール給油		T0002

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					
A=1 アスファルト舗装版 C=1 不要 F=1 有り			B=1 無し D=1 15cm以下 G=1 IV-3-②-2		

施 工 内 訳 表

表層(車道・路肩部)W=3.0m超
t=40mm, 密粒度ギャップ As(新材)

SQ155

密度 2.35 t/m³, タックコート PK-4

施工内訳0-0013号表

As合材 200 t 未満/工事(通常時間帯)

1

m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルトフィニッシュ賃料 ホイール型, 舗装幅 2.3 ~ 6.0 m	0.001	日			T0477 1
ロードローラ賃料 マカダム, 10 ~ 12 t	0.001	日			T0415 1
タイヤローラ賃料 8 ~ 20 t	0.001	日			T0422 1
普通作業員	0.003	人			R0200 1
特殊作業員	0.001	人			R0100 1
運転手 (特殊)	0.001	人			R1400 1
土木一般世話役	0.000	人			R2500 1
アスファルト混合物 (新材) 密粒度ギャップ	0.101	t			T7006 1
アスファルト乳剤 PK 3・4	0.000	t			T7022 1
軽油	0.064	L			T0002 1
※※ 代表機労材規格 ※※	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ積算単価》	1.00	m ²			

当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

基層(車道・路肩部)W=3.0m超
t=30mm, 密粒度As(再生)

SQ155
密度 2.35 t/m³, タックコート PK-4

施工内訳0-0014号表
As合材 200 t 未満/工事(通常時間帯)

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルトフィニッシャ賃料 ホイール型, 舗装幅2.3~6.0m	0.001	日			T0477 1
ロードローラ賃料 マカダム, 10~12t	0.001	日			T0415 1
タイヤローラ賃料 8~20t	0.001	日			T0422 1
普通作業員	0.003	人			R0200 1
特殊作業員	0.001	人			R0100 1
運転手(特殊)	0.001	人			R1400 1
土木一般世話役	0.000	人			R2500 1
再生アスファルト混合物 密粒度	0.076	t			T9109 1
アスファルト乳剤 PK3・4	0.000	t			T7022 1
軽油	0.065	L			T0002 1
※※ 代表機労材規格 ※※	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ積算単価》	1.00	m ²			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=1 車道・路肩部 C=30 平均厚さ [単位 : mm] E=3 密粒度As(再生)			B=1 基層 D=4 W=3.0m超 G=1 締固め後密度 2.35 t/m3(標準)		
H=1 タックコート PK-4 J=1 通常時間帯			I=2 As合材 200 t 未満/工事 K=1 IV-1-②-2, 8		

施 工 内 訳 表

表層(車道・路肩部)W=3.0m超
t=50mm, 密粒度As(再生)

SQ155
密度 2.35 t/m³, プライムコート PK-3

施工内訳0-0015号表
As合材 200 t未満/工事(通常時間帯)

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルトフィニッシャ賃料 ホイール型, 舗装幅2.3~6.0m	0.001	日			T0477 1
ロードローラ賃料 マカダム, 10~12t	0.001	日			T0415 1
タイヤローラ賃料 8~20t	0.001	日			T0422 1
普通作業員	0.003	人			R0200 1
特殊作業員	0.001	人			R0100 1
運転手(特殊)	0.001	人			R1400 1
土木一般世話役	0.000	人			R2500 1
再生アスファルト混合物 密粒度	0.126	t			T9109 1
アスファルト乳剤 PK3・4	0.001	t			T7022 1
軽油	0.064	L			T0002 1
※※ 代表機労材規格 ※※	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《施工パッケージ積算単価》	1.00	m ²			

当り

[illegible]

殻運搬舗装版破碎

運搬距離17.0km超28.5km以下，DID無し

機械構成比：

労務構成比：

SQZ101

機械積込(小規模土工)

材料構成比：

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0016号表

1

m3 当り

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む			ダンプトラック 2 t 積級 オンロード・ディーゼル タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む		M1002P
運転手 (一般)			運転手 (一般)		R1500
軽油			軽油 パトロール給油		T0002
積算単価			積算単価		EP001
*** 単位当り計 ***					

殻運搬舗装版破碎
運搬距離17.0km超28.5km以下, DID無し
機械構成比: 労務構成比:

SQZ101
機械積込(小規模土工)
材料構成比:

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0016号表
1
標準単価:
m3 当り

代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)		単 価 (東京地区)	備 考
A=3	舗装版破碎			B=4	機械積込(小規模土工)		
C=1	無し			D=65	17.0km超28.5km以下		
E=1	II-2-25-1						

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
産業廃棄物受入料	1.00	m3			
*** 単位当り計 ***	1	m3			
A=1 アスファルト塊（掘削） C= 受入料金（円／単位）			B=1 m3当り		

橋面防水工（塗膜系）
補修

S8530

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0018号表

頁0-0037

C=0 E=0

100

m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
補修	100	m ²			市場単価
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=2 塗膜防水工 C= ドレーン材の単価（円／m） E= 目地材の単価（円／m）			B=2 補修 D=0 ドレーン材の数量（m／100m ² ） F=0 目地材の数量（m／100m ² ）		
G=1 200m ² 以上（標準）又は補修作業の場合 I=1 夜間作業の補正なし			H=1 時間的制約を受けない場合又は補修の場合 J=1 VI-2-⑫-1		

はつり工
6cmを超え9cm以下

V0003
排出ガス対策型(第1次基準値)

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0019号表

10 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.4	人			R2500 1
特殊作業員	2.3	人			R0100 1
普通作業員	1.5	人			R0200 1
空気圧縮機 可搬式エンジン 2.5m3/min(排1次) 〔機-16〕	1.1	日			V0007 施工内訳0-0020号表
諸雑費	1	%			#01
*** 合 計 ***	10	m2			
*** 単位当り計 ***	1	m2			

空気圧縮機 可搬式エンジン
2.5m3/min(排1次) [機-16]

V0007

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0020号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油	21	L			T0002
空気圧縮機賃料 可搬式エンジン掛, 2.5m3/min	1.7	日			T0302
*** 単位当り計 ***	1	日			

不陸調整工
ポ^リマーセメントモルタル

V0004

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0021号表

頁0-0040

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	5.3	人			R2500 1
特殊作業員	15	人			R0100 1
普通作業員	11.6	人			R0200 1
ポリマーセメントモルタル 無収縮	1	m3			T0815
諸雑費	3	%			#01
*** 単位当り計 ***	1	m3			

嵩上げ高欄設置工
組立式 施工量100m未満

V0006

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0022号表

頁0-0041

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	4.2	人			R2500
普通作業員	16.8	人			R0200
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当り計 ***	1	m			

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
特殊作業員			特殊作業員		R0100
普通作業員			普通作業員		R0200
土木一般世話役			土木一般世話役		R2500
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
*** 単位当り計 ***					
A=2 C=1 B型(穿孔アンカー方式) 4m以下			B=1 D=1 2m IV-2-②-2		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
産業廃棄物受入料	1.00	m3			
*** 単位当り計 ***	1	m3			
A=3 C= コンクリート塊（無筋） 受入料金（円／単位）			B=1 m3当り		

橋名板等取付
200×300×13(ﾌﾞﾛﾝｽﾞ)

SQ176

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0025号表

頁0-0045

1 枚 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.150	人			R0200 1
橋名板 200×300×13 (ﾌﾞﾛﾝｽﾞ)	1.000	枚			T0062 1
＊ ＊ 代表機労材規格 ＊ ＊	-100	%			#01 この行までは参考表示であり積算には不使用
《 施工ﾊﾟｯｹｰｼﾞ 積算単価 》	1.00	枚			
＊ ＊ ＊ 単位当り計 ＊ ＊ ＊	1	枚			
A=3 200×300×13(ﾌﾞﾛﾝｽﾞ)			C=1 IV-2-⑥-3		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
産業廃棄物受入料	1.00	m3			
*** 単位当り計 ***	1	m3			
A=1 アスファルト塊（掘削） C= 受入料金（円／単位）			B=1 m3当り		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁特殊工（足場）	0.130	人			R2200
足場損料	2.0	月			J0001
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=1 足場工(板張防護含む) E=2 供用月数（ヶ月）			B=2 桁高 1.5m未満 F=1 IV-3-⑩-6		

朝顔
両側設置

S3354
供用2ヶ月

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0028号表

頁0-0048

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁特殊工（朝顔）	0.022	人			R2200
朝顔損料	2.0	月			
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=2 朝顔 E=2 供用月数（ヶ月）			D=1 両側設置 F=1 IV-3-⑩-6		

朝顔部防護工
シート張防護 両側設置

S3354
供用2ヶ月

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0029号表

頁0-0049

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁特殊工（朝顔部防護工）	0.004	人			R2200
朝顔部防護材損料	2.0	月			J0002
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	m ²			
A=3 朝顔部防護工 D=1 両側設置 F=1 IV-3-⑩-6			C=2 シート張防護 E=2 供用月数（ヶ月）		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂（ほぐした土量）	10.0	m 3			
大型土のう 耐候性： 2 tタイプ 短期仮設対応型(1年)	10	枚			T0048
土木一般世話役	0.28	人			R2500 1
特殊作業員	0.28	人			R0100 1
普通作業員	0.28	人			R0200 1
バックホウ運転費（賃料） クローラ型山積0. 8 m 3 （クレーン付）	0.28	日			SA740 施工内訳0-0031号表
諸雑費	4.00	%			#01
*** 合 計 ***	10	袋			
*** 単位当り計 ***	1	袋			
A=1 製作・据付 C=1 耐候性：許容重量 2 tタイプ 短期仮設型(1年)			B=1 作業半径 6m以下 G=1 II-5-⑩-3		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料（クレーン付） 山積0.8m ³ , 吊能力2.9t	1.39	供用日			T0439
軽油	104.00	L			T0002
運転手（特殊）	1.00	人			R1400
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	日			
A=2 クローラ型山積0.8m ³ （クレーン付） C=104 燃料消費量（L）			B=1 D=1.39	特殊運転手（人） 機械賃料（供用日数）	

大型土のう撤去
作業半径 6m以下

S1899

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0032号表

頁0-0052

10 袋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.07	人			R2500 1
特殊作業員	0.07	人			R0100 1
バックホウ運転費（賃料） クローラ型山積0. 8 m 3 （クレーン付）	0.07	日			SA740 施工内訳0-0033号表
諸雑費	1	式			#10
*** 合 計 ***	10	袋			
*** 単位当り計 ***	1	袋			
A=4 撤去 G=1 II-5-⑩-3			B=1 作業半径 6m以下		

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ賃料（クレーン付） 山積0.8m ³ , 吊能力2.9t	1.26	供用日			T0439
軽油	78.00	L			T0002
運転手（特殊）	1.00	人			R1400
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当り計 ***	1	日			
A=2 クローラ型山積0.8m ³ （クレーン付） C=78 燃料消費量（L）			B=1 特殊運転手（人） D=1.26 機械賃料（供用日数）		

極小規模鉄筋探查工
0.62m2 下向き

V0005

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0034号表

0.62 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（A）	0.5	人			RA625 1
技師（B）	1	人			RA630 1
技師（C）	1	人			RA635 1
諸雑費	5	%			#01
*** 合 計 ***	0.62	m2			
*** 単位当り計 ***	1	m2			

入力データ一覧表

頁0-0055

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
X1000	＊＊本工事費＊＊			
Y2E000000	小麦橋 レベル 1	式		
Y2E010000	補修工 レベル 2	式		
Y2E010100	断面修復工 レベル 3	式		
V0009	構造物断面補修工（左官工法） 鉄筋 $\sqrt{}$ ・鉄筋防錆処理 有・無併用	1 構造物		
S7031	構造物とりこわし工 無筋構造物 機械施工	1 m 3		A=1, B=1, C=1, D=1, E=1, F=1 A=無筋構造物, B=機械施工, C=不要, D=昼間単価, E=無し, F=VI-1-④-1
S8400	鉄筋加工・組立（一般構造物） D 1 6 ～ 2 5 mm, S D 3 4 5	0.05 t		A=3, B=2, C=2, D=2, E=1, F=1, G=1, H=1, I=2, J=1, K=1, L=1 A=異形鉄筋 1 6 ～ 2 5 mm, B=S D 3 4 5, C=一般構造物, D=1 0 t 未満, E=トンネル外作業, F=法面作業でない, G=時間的制約なし, H=通常時間帯, I=5 0 t 未満, J=太径鉄筋無し又は、割合 1 0 %未満, K=水替なし又は災害査定, L=VI-2-①-1
SQZ101	殻運搬コンクリート（無筋）構造物とりこわし 運搬距離14.4km超18.5km以下, DID無し	1 m3		A=1, B=1, C=1, D=56, E=1 A=コンクリート（無筋）構造物とりこわし, B=機械積込, C=無し, D=14.4km超 18.5km以下, E=II-2-25-1
#0042	＊処分費（直工内）＊			
S9910	産業廃棄物受入料 コンクリート塊（無筋）	1 m3		A=3, B=1, C= A=コンクリート塊（無筋）, B=m3当り, C=受入料金（円／単位）
Y2E010100	ひび割れ補修工 レベル 3	式		
S3380	構造物ひび割れ補修工（低圧注入工法） 補修延長 1m	1 構造物		A=2, B=1, E=0.027, F=, G=0.14, H=, I=4, J=, K=1 A=低圧注入工法, B=1 構造物当り補修延べ延長 [m／構造物], E=注入材使用数量 [kg／構造物] ※ロス率含む, F=注入材 単価 [円／kg], G=シール材設計数量 [kg／構造物], H=シール材 単価 [円／kg], I=注入器具使用数量[個／構造物]※ロス率含む, J=注入器具 単価 [円／個], K=II-2-⑨-1, 4
S3380	構造物ひび割れ補修工（充てん工法） 補修延長 0.65m	1 構造物		A=1, B=0.65, C=0.135, D=, K=1 A=充てん工法, B=1 構造物当り補修延べ延長 [m／構造物], C=充て

入力データ一覧表

頁0-0056

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
				ん材設計数量 [kg／構造物] ,D=充てん材 単価 [円／kg] ,K=Ⅱ-2-⑨-1,4
Y2E010100	表面含浸工 レベル3	式		
V0008	下地処理工 サタケレン 100m2未満	44 m2		
V0001	含浸材塗布 施工規模100m2未満 シン系	44 m2		
F0001	表面含浸材 シン系 アクリル1400	1 缶		
Y2E010100	水切り設置工 レベル3	式		
V0002	水切設置工 軟質PVC 水切りアイソリップ	14 m		
Y2E010100	舗装工 レベル3	式		
SQZ185	アスファルト舗装版切断 アスファルト舗装版厚15cm以下	7 m		A=1, B=1, E=1 A=アスファルト舗装版, B=15cm以下, E=Ⅳ-3-③-1
SQZ184	アスファルト舗装版破碎 舗装版厚15cm以下, 障害等無し	35 m ²		A=1, B=1, C=1, D=1, F=1, G=1 A=アスファルト舗装版, B=無し, C=不要, D=15cm以下, F=有り, G=Ⅳ-3-②-2
SQ155	表層(車道・路肩部)W=3.0m超 t =40mm, 密粒度キヤップ As(新材)	24 m ²		A=1, B=3, C=40, D=4, E=4, G=1, H=1, I=2, J=1, K=1 A=車道・路肩部, B=表層, C=平均厚さ [単位: mm] , D=W=3.0m超, E=密粒度キヤップ As(新材), G=締固め後密度 2.35 t /m3(標準), H=タックコート PK-4, I=As合材 200 t 未満/工事, J=通常時間帯, K=Ⅳ-1-②-2, 8
SQ155	基層(車道・路肩部)W=3.0m超 t =30mm, 密粒度As(再生)	12 m ²		A=1, B=1, C=30, D=4, E=3, G=1, H=1, I=2, J=1, K=1 A=車道・路肩部, B=基層, C=平均厚さ [単位: mm] , D=W=3.0m超, E=密粒度As(再生), G=締固め後密度 2.35 t /m3(標準), H=タックコート PK-4, I=As合材 200 t 未満/工事, J=通常時間帯, K=Ⅳ-1-②-2, 8
SQ155	表層(車道・路肩部)W=3.0m超 t =50mm, 密粒度As(再生)	11 m ²		A=1, B=3, C=50, D=4, E=3, G=1, H=2, I=2, J=1, K=1 A=車道・路肩部, B=表層, C=平均厚さ [単位: mm] , D=W=3.0m超, E=密粒度As(再生), G=締固め後密度 2.35 t /m3(標準), H=プライムコート PK-3, I=As合材 200 t 未満/工事, J=通常時間帯, K=Ⅳ-1-②-2, 8
SQZ101	殻運搬舗装版破碎 運搬距離17.0km超28.5km以下, DID無し	2 m3		A=3, B=4, C=1, D=65, E=1 A=舗装版破碎, B=機械積込(小規模土工), C=無し, D=17.0km超28.5km以下, E=Ⅱ-2-25-1

入力データ一覧表

頁0-0057

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
#0042	*処分費（直工内）*			
S9910	産業廃棄物受入料 アスファルト塊（掘削）	2 m3		A=1, B=1, C= A=アスファルト塊（掘削）, B=m3当り, C=受入料金（円／単位）
Y2E010100	橋面防止工 レベル3	式		
S8530	橋面防水工（塗膜系） 補修	24 m ²		A=2, B=2, G=1, H=1, I=1, J=1 A=塗膜防水工, B=補修, G=200m ² 以上（標準）又は補修作業の場合 , H=時間的制約を受けない場合又は補修の場合, I=夜間作業の補正なし, J=VI-2-⑫-1
Y2E010100	嵩上げ高欄工 レベル3	式		
V0003	はつり工 6cmを超え9cm以下	2 m2		
V0004	不陸調整工 ポリマーセメントモルタル	0.04 m3		
V0006	嵩上げ高欄設置工 組立式 施工量100m未満	14 m		
SQZ437	支柱アンカー 形式 B型（穿孔アンカー方式）	14 m		A=2, B=1, C=1, D=1 A=B型（穿孔アンカー方式）, B=2m, C=4m以下, D=IV-2-②-2
F0003	高欄 タイプA DSK-N-K2SP-55LSWT SP種	10 m		
F0004	高欄 タイプB DSK-N-K3SP-88LSWT SP種	4 m		
F0006	樹脂カプセル ARケミカルセッター SUPER LL AP	28 本		
SQZ101	殻運搬コンクリート（無筋）構造物とりこわし 運搬距離14.4km超18.5km以下, DID無し	0.1 m3		A=1, B=1, C=1, D=56, E=1 A=コンクリート（無筋）構造物とりこわし, B=機械積込, C=無し, D=14.4km超 18.5km以下, E=II-2-25-1
#0042	*処分費（直工内）*			
S9910	産業廃棄物受入料 コンクリート塊（無筋）	0.1 m3		A=3, B=1, C= A=コンクリート塊（無筋）, B=m3当り, C=受入料金（円／単位）
Y2E010100	橋名板取付工 レベル3	式		

入力データ一覧表

頁0-0058

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
SQ176	橋名板等取付 200×300×13(ﾌﾟﾛﾝｽﾞ)	4 枚		A=3, C=1 A=200×300×13(ﾌﾟﾛﾝｽﾞ), C=Ⅳ-2-⑥-3
Y2E010100	伸縮装置工 レベル3	式		
SQZ185	アスファルト舗装版切断 アスファルト舗装版厚15cm以下	14 m		A=1, B=1, E=1 A=アスファルト舗装版, B=15cm以下, E=Ⅳ-3-③-1
SQZ184	アスファルト舗装版破碎 舗装版厚15cm以下, 障害等無し	0.4 m ²		A=1, B=1, C=1, D=1, F=1, G=1 A=アスファルト舗装版, B=無し, C=不要, D=15cm以下, F=有り, G=Ⅳ-3-②-2
F0005	伸縮装置目地補修工(ｺﾞﾑ劣化取替工法) SMｼﾞｮｲﾝﾄ工法Ⅱ型 幅50mm×深さ平均55mm	7.2 m		
SQZ101	殻運搬舗装版破碎 運搬距離17.0km超28.5km以下, DID無し	0.02 m ³		A=3, B=4, C=1, D=65, E=1 A=舗装版破碎, B=機械積込(小規模土工), C=無し, D=17.0km超28.5km以下, E=Ⅱ-2-25-1
#0042	*処分費(直工内)*			
S9910	産業廃棄物受入料 アスファルト塊(掘削)	0.02 m ³		A=1, B=1, C= A=アスファルト塊(掘削), B=m ³ 当り, C=受入料金(円／単位)
Y291A0000	仮設工 レベル2	式		
Y2E010100	足場工 レベル3	式		
S3354	足場工(板張防護含む) 桁高 1.5m未満	24 m ²		A=1, B=2, E=2, F=1 A=足場工(板張防護含む), B=桁高 1.5m未満, E=供用月数(ヶ月), F=Ⅳ-3-⑩-6
S3354	朝顔 両側設置	9 m ²		A=2, D=1, E=2, F=1 A=朝顔, D=両側設置, E=供用月数(ヶ月), F=Ⅳ-3-⑩-6
S3354	朝顔部防護工 シート張防護 両側設置	9 m ²		A=3, C=2, D=1, E=2, F=1 A=朝顔部防護工, C=シート張防護, D=両側設置, E=供用月数(ヶ月), F=Ⅳ-3-⑩-6
Y3002	大型土のう工			
S1899	大型土のう製作・据付 作業半径 6m以下	18 袋		A=1, B=1, C=1, G=1 A=製作・据付, B=作業半径 6m以下, C=耐候性:許容重量2 tタイプ

入力データ一覧表

頁0-0059

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
				短期仮設型(1年), G=Ⅱ-5-⑩-3
S1899	大型土のう撤去 作業半径 6m以下	18 袋		A=4, B=1, G=1 A=撤去, B=作業半径 6m以下, G=Ⅱ-5-⑩-3
G0000	＊＊直接工事費＊＊			
Z0006	技術管理費			
V0005	極小規模鉄筋探索工 0.62m2 下向き	式 0.6 m2		
Z0010	現場環境改善費			
Z0050	共通仮設費（率分）	式		
G1000	＊＊共通仮設費計＊＊	式		
G2000	＊＊純工事費＊＊			
Z0020	現場管理費			
G2900	＊＊現場管理費計＊＊	式		
G4000	＊＊工事原価＊＊			
Z0030	一般管理費			
Z0031	契約保証費	式		
G4100	＊＊一般管理費等計＊＊	式		
G4800	＊＊工事価格＊＊			
Z0038	消費税相当額			
G5000	＊＊請負工事費＊＊	式		

入力データ一覧表

頁0-0060

[illegible]

登録単価一覧表

頁0-0061

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価 (0. 4. 8)	単価 (1. 5. 9)	単価 (2. 6)	単価 (3. 7)	特殊集計 集計区分
F0001	表面含浸材 シリ系 アクリル1400 10kg/缶 0.2kg/m2*1.1(ロス)	缶	85,500				
F0002	水切りアイドリップ 軟質PVC 接着剤含む	m	1,440				
F0003	高欄 タイプA DSK-N-K2SP-55LSWT SP種 角ビーム2本 H=550 鉄筋回避仕様	m	47,900				
F0004	高欄 タイプB DSK-N-K3SP-88LSWT SP種 角ビーム3本 H=880 鉄筋回避仕様	m	82,400				
F0005	伸縮装置目地補修工(コンクリート劣化取替工法) SM工法Ⅱ型 幅50mm×深さ平均55mm	m	35,000				
F0006	樹脂カプセル ARケミカルセッター SUPER LL AP AP-20 (φ20, L195, ガラス管)	本	1,170				

機 材 集 計 表

頁0-0062

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 位	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	M1002P	191		0.9292	供用日	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	運搬・荷役機械等
2	M1011P	191		0.0550	供用日	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	運搬・荷役機械等
3	M4737P	193		0.2100	供用日	コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音)・湿式]	路盤用・舗装用機械等
4	R0100	202		36.4050	人	特殊作業員	労務単価
5	R0200	202		28.0910	人	普通作業員	労務単価
6	R1400	202		0.6770	人	運転手 (特殊)	労務単価
7	R1500	202		0.8428	人	運転手 (一般)	労務単価
8	R2200	202		3.3540	人	橋りょう特殊工	労務単価
9	R2500	202		22.2660	人	土木一般世話役	労務単価
10	RA625	388		0.4839	人	技師 (A)	設計業務基準日額 ※外業
11	RA630	388		0.9677	人	技師 (B)	設計業務基準日額 ※外業
12	RA635	388		0.9677	人	技師 (C)	設計業務基準日額 ※外業
13	T0001	221		2.7300	L	ガソリン	3-1 燃料類
14	T0002	221		92.4316	L	軽油	3-1 燃料類
15	T0048	274		18.0000	枚	大型土のう	11-1 諸材料
16	T0062	274		4.0000	枚	橋名板	11-1 諸材料
17	T0094	262		0.0000	枚	コンクリートカッターブレード	9-4 ビット・ロッド
18	T0302	382		0.3740	日	空気圧縮機賃料	建設機械賃料
19	T0415	382		0.0470	日	ロードローラ賃料	建設機械賃料
20	T0422	382		0.0470	日	タイヤローラ賃料	建設機械賃料
21	T0439	382		0.8593	日	バックホウ賃料 (クレーン付)	建設機械賃料
22	T0477	382		0.0470	日	アスファルトフィニッシャ賃料	建設機械賃料
23	T0478	382		0.0000	日	バックホウ賃料(後方超小旋回)	建設機械賃料
24	T0674	246		0.0515	t	異形鉄筋 (SD345)	7-1 鉄筋
25	T0815	274		0.8530	m3	ポリマーセメントモルタル	11-1 諸材料
26	T7006	217		2.4240	t	アスファルト混合物 (新材)	2-1 アスコン合材
27	T7022	218		0.0110	t	アスファルト乳剤	2-2 アスファルト乳剤等
28	T8100	320		0.0500	t	鉄筋加工・組立	市場単価 (1)鉄筋工 (土木)
29	T9109	217		2.2980	t	再生アスファルト混合物	2-1 アスコン合材
30	TC191	405		1.0000	m 3	構造物とりこわし工 無筋構造物 [手間]	土木工事標準単価 (6)構造物とりこわし工

使用重機一覧表

頁0-0063

項番	データ コード	施 工 名 称	集 計 コード	使 用 重 機 コ ー ド
1	SQZ101	殻運搬コンクリート(無筋)構造物とりこわし		M1011P
2	SQZ185	アスファルト舗装版切断		M4737P
3	SQZ101	殻運搬舗装版破碎		M1002P
4	SQZ101	殻運搬コンクリート(無筋)構造物とりこわし		M1011P
5	SQZ185	アスファルト舗装版切断		M4737P
6	SQZ101	殻運搬舗装版破碎		M1002P

数 量 計 算 表

工 種	項 目		計 算 式 （上段：当初，下段：変更）	数量	設計数量	単位	備 考
	種 別	細 別		上段：当初 下段：変更	（上段：当初） （下段：変更）		
施工延長	橋梁保全 (小麦橋)			6.7	6.7		
		計			6.7	m	
【本工事】							
断面修復工	構造物断面修復工	左官工法 施工量 0.689m3/構造物 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有り	1.00	1.0	1	構造物	
		構造物とりこわし工 無筋構造物 機械施工	0.689	0.69	1	m3	
	鉄筋加工・組立	一般構造物 D16～25mm SD345 10t未満	0.052	0.05	0.05	t	
		コンクリート殻運搬処分	殻運搬コンクリート（無筋）構造物とりこわし 運搬距離L=17.1km DIDなし 機械積込	0.689	0.69	1	m3
			産業廃棄物受入料 コンクリート塊（無筋）	0.689	0.69	1	m3
	ひび割れ補修工	構造物ひび割れ補修工	低圧注入工法 補修延長 1m	1.0	1.0	1	構造物
充てん工法 補修延長 0.65m			1.0	1.0	1	構造物	
表面含侵工		下地処理工 サンダーケレン 100m2未満	44.069	44.1	44	m2	
		含浸材塗布 施工規模100m2未満 シラン系	44.069	44.1	44	m2	
		表面含侵材 シラン系 アクリート1400 10kg/缶 0.20kg/m2*1.1(㎡)	1.00	1.0	1	缶	
		水切り設置工 軟質PVC 水切りアイドリップ	13.5	13.5	14	m	
舗装工		アスファルト舗装版切断 アスファルト舗装版厚15cm以下	6.75	6.8	7	m	
		アスファルト舗装版破碎 舗装版厚15cm以下 積込作業有り	35.1	35.1	35	m2	
		表層（車道・路肩部）W=3.0m超 t=40mm 密粒度ギャップ As（新材）密度2.35t/m3 タックコートPK-4	24.3	24.3	24	m2	
		基層（車道・路肩部）W=3.0m超 t=30mm 密粒度As（再生）密度2.35t/m3 タックコートPK-4	12.15	12.2	12	m2	
		表層（車道。路肩部）W=3.0m超 t=50mm 密粒度As（再生）密度2.35t/m3 プライムコートPK-3	10.8	10.8	11	m2	
		殻運搬舗装版破碎 L=21.7km DID無し 機械積込（小規模土工）	1.526	1.5	2	m3	
		産業廃棄物受入料 アスファルト塊（掘削）	1.526	1.5	2	m3	
		橋面防水工（塗膜系） 補修	24.3	24.3	24	m2	

数量計算表

工種	項 目		計 算 式 (上段：当初，下段：変更)	数量 上段：当初 下段：変更	設計数量 (上段：当初) (下段：変更)	単位	備 考
	種 別	細 別					
ひび割れ補修工	嵩上げ高欄工	はつり工 6cmを超え9cm以下 排出ガス対策型(第1次基準値)	2.025	2.0	2	m2	
		不陸調整工 ポリマーセメントモルタル	0.041	0.04	0.04	m3	
		嵩上げ高欄設置工 組立式 施工量100m未満	9.63 + 3.83	13.5	14	m	
		支柱アンカー 形式 B型(穿孔アンカー方式) 支柱間隔2m 設置高さ4m以下 支柱アンカー(材料費)含まず	9.63 + 3.83	13.5	14	m	
		高欄 タイプ A DSK-N-K2SP-55LSWT SP種 角ヒューム2本 H=550鉄筋回避仕様	9.63	9.6	10	m	
		高欄 タイプ B DSK-N-K3SP-88LSWT SP種 角ヒューム3本 H=880鉄筋回避仕様	3.83	3.8	4	m	
		樹脂カプセル ARケミカルセッター SUPER LL AP AP-20 (φ20, L195, ガラス管)	28.0	28.0	28	本	
	コンクリート殻運搬処分	殻運搬コンクリート(無筋) 構造物ととりこわし 運搬距離L=17.1km無し 機械積込	0.108	0.11	0.1	m3	
		産業廃棄物受入料 コンクリート塊(無筋)	0.108	0.11	0.1	m3	
		橋名板等取付 200×300×13 (ブロンズ)	4.0	4.0	4	枚	
	伸縮装置工	アスファルト舗装版切断 アスファルト舗装版厚15cm以下	3.60 × 4.00	14.4	14	m	
		アスファルト舗装版破碎 舗装版厚15cm以下 積込作業有り	0.05 × 3.60 × 2.0	0.4	0.4	m2	
		伸縮装置目地補修工 (ゴム劣化取替工法) SMジョイント工法Ⅱ型 幅50mm×深さ平均55mm	7.20	7.2	7.2	m	
		殻運搬舗装版破碎 L=21.7km DID無し 機械積込 (小規模土工)	0.05 × 3.60 × (0.04 + 0.07)	0.02	0.02	m3	
		産業廃棄物受入料 アスファルト塊 (掘削)	0.05 × 3.60 × (0.04 + 0.07)	0.02	0.02	m3	
		足場工 (板張防護含む) 桁高 1.5m未満 共用2ヶ月	23.575	23.6	24	m2	
		朝顔 両側設置 共用2ヶ月	(0.8 + 0.8) × 5.75	9.2	9	m2	
仮設工	足場工	朝顔部防護工 シート張防護 両側設置 共用2ヶ月	(0.8 + 0.8) × 5.75	9.2	9	m2	
		大型土のう製作・据付 作業半径6m以下 耐候性：許容重量2tタイプ 1年	18.0	18.0	18	袋	
		大型土のう撤去 作業半径6m以下	18.0	18.0	18	袋	
	大型土のう						
共通仮設費	極小規模 鉄筋探查工	下向き 0.14*0.315*14箇所	0.62	0.62	0.6	m2	

積算単価根拠表

工 事 名： 令和7年度道路メンテナンス事業小麦橋修繕工事
橋 梁 名： 小麦橋
工事場所： 阿久根市 大川 地内

公共事業設計単価
建設物価
積算資料
建設機械等損料算定表

令和7年7月1日
令和7年7月
令和7年7月
令和6年度版

コード 番 号	単価コード 名 称	材質 及び 規格・寸法	単 位	決定単価 (円)	公共単価		建設物価		積算資料		土木コスト		見積単価 (円)			見積平均価格 (円)	備 考
					(円)	P	(円)	P	(円)	P	(円)	P	A社	B社	C社		
F0001	表面含侵材		缶										○	○	○		
F0002	水切りアイドリップ	軟質PVC 接着剤含む	m										○	○	○		
F0003	高欄 タイプA	DSK-N-K2SP-55LSWT SP種 角ビーム42本 H=550 鉄筋回避仕様	m										○	○	○		
F0004	高欄 タイプB	DSK-N-K3SP-88LSWT SP種 角ビーム43本 H=880 鉄筋回避仕様	m										○	○	○		
F0005	伸縮装置目地補修工	SMポイント工法Ⅱ型 幅50mm×深さ平均55mm	m										○	○	○		
F0006	樹脂カプセル	ARケミカルセッター SUPER LL AP AP-20(φ20, L195, ガラス管)	本										○	○	○		
S8400	加工・組立〔手間のみ〕	一般構造物（吊上げなし）	t			166											
S8400	異形棒鋼(SD345)	D16～25mm	t			96											
S8530	橋名板	200×300×13 ブロンズ	枚			125											
S3380 F条件	注入材	エポキシ樹脂系クラック処理 床版補強用 参考重量1.15	kg			126											
S3380 H条件	シーリング材	エポキシ樹脂系クラック処理 床版補強用 参考重量1.7	kg			126											
S3380 J条件	低圧注入器具		個										○	○	○		
S3380 D条件	充填材材料費		kg										○	○	○		
V0009	ポリマーセメントモルタル	無収縮 橋梁断面修復工 参考比重1.875	m3			126											
V0010	軽油		L			38											
V0010	空気圧縮機賃料	可搬式エンジン掛 2.5m3/min	日			264											

特記仕様書

第1章 総則

(総則)

第1条 この特記仕様書は、次の工事に適用する。

工 事 名：令和7年度 道路メンテナンス事業 小麦橋修繕工事

工事場所：市道大角線 阿久根市大川地内

第2条 この工事は、契約図書及び図面によるほか、この特記仕様書ならびに下記仕様書等
その他諸法を遵守し施工しなければならない。

なお、本特記仕様書及び共通仕様書、要綱、指針、示方書（最新版）に記載されていない事項で疑義が生じた場合は、別紙「工事打合簿」により監督職員（以下「甲」という。）と協議し、かつその指示に従うこと。

- (1) 土木工事共通仕様書（鹿児島県土木部制定）
- (2) 土木工事施工管理基準（鹿児島県土木部制定）
- (3) 土木請負工事必携（鹿児島県土木部制定）
- (4) 道路事業の手引き（鹿児島県土木部制定）
- (5) コンクリート標準示方書（土木学会制定）
- (6) コンクリートのポンプ施工指針（土木学会）
- (7) 道路橋示方書（日本道路協会）
- (8) コンクリート道路橋施工便覧（日本道路協会）
- (9) 支承便覧（土木学会）
- (10) 道路橋床版防水便覧（土木学会）
- (11) 建設副産物適正処理推進要綱＜改定＞（国土交通省）
- (12) 土木工事安全施工技術指針（国土交通省大臣官房技術調査課）
- (13) その他関係要綱、指針、示方書等

第3条 この工事の契約数量は、別添「本工事内訳書」のとおりとする。

なお、この数量に変更を生じた場合は、甲乙協議のうえ契約変更の対象とする。

ただし、出来形等に係る設計値は図面及び構造物調書のとおりとする。

第4条 契約の保証は、当初請負金額が 500 万円を超える場合、請負金額の 10 分の 1 以上の金銭的保証を要す。

(前払金)

第5条 保証事業会社の保証がなされている請負金額 500 万円以上のものについては、請負金額の 10 分の 4 以内で前払金を請求することができる。

なお、当初設計においては前記の前払金を受けるものとして一般管理費の率を計上してあるが、前払金を受けない場合でも、一般管理費の率は変更の対象としない。

2 次に掲げる要件のいずれにも該当し、前項により前払金の支払いを受けた後、保証事業会社と中間前払金に関する保証がなされたものについては、請負金額の 10 分の 2 以内で中間前払金を請求することができる。

ただし、契約に当たり部分払することを選択した場合は、中間前金払を行わないこととする。さらに、前払金と中間前払金との合計は請負金額の 10 分の 6 を超えないものと

する。

- (1) 工期の2分の1を経過していること。
- (2) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施すべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。
- (3) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。

3 前金払を請求する場合は、請求書に保証事業会社の保証に係る保証証書を添付して提出しなければならない。

(部分払金)

第6条 部分払は、請負金額が500万円以上の場合、2回まで（既に前払いがなされているときは1回迄）行えるものとする。ただし、中間前金払があるときは、原則として部分払いは行わない。

(工事カルテ作成、登録)

第7条 請負者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、実績情報システム（CORINS）に基づき、受注・変更・完成時に工事实績情報として「通知書」を作成し監督職員の確認を受けた上、受注時は契約後10日以内（土、日、祝日等を除く）に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内（土、日、祝日等を除く）に、完成時は工事完成後10日以内（土、日、祝日等を除く）に（財）日本建設情報総合センターに登録しなければならない。

変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金2,500万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。

また、登録完了後は、（財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」を、直ちに監督職員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

(電子納品)

第8条 本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「阿久根市電子納品ガイドライン（案）（令和4年1月）：（以下「ガイドライン」という。）」に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。

【阿久根市ウェブサイト】

ホーム > 市政情報 > 施策・計画 > 土木・建築・交通 > 電子納品

2 ガイドラインに基づき作成した電子成果品は、電子媒体で正本・副本各1部の計2部提出する。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定する。

(技術者)

第9条 請負者は、測量・調査・施工管理・検査のために専属して経験のある技術者を常置し、監督職員の指示に応じなければならない。

(監理技術者等の専任を要しない期間)

第10条 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の

搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、打合せ記録簿により明確となっていることを条件に、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定めること。

- 2 工事完成後、検査が終了し、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日（「工事目的物引受書」等における日付）とする。

（配置技術者等の途中交代）

第11条 配置技術者の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、傷病、退職等、真にやむを得ない場合の他、下記に該当する場合である。

- (1) 請負者の責によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合
- 2 前1項の場合にあっても、請負者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。

（現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合）

第12条 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下のいずれかの要件を満たす場合に、工事請負契約書第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」ものとして取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や現場保全の義務（現場の巡回等）があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。

- (1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
 - (2) 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間
 - (3) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間。また、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の現場代理人が、これらの製作を一括して運営、取締りを行うことができるものとする。
 - (4) 前3号に掲げる期間のほか、請負者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間
- 2 発注者への報告
前1項の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。

第13条 現場代理人の兼任

- 1 現場代理人の兼任を認める工事

現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項（請負代金の変更、契約の解除等を除く。）を処理する受注者の代理人であるが、次の(1)から(5)のすべてを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。

また、主たる工種が区画線工事の場合、次の(1)、(2)及び(6)の全てを満たし、工事現場における運営、取り締まり及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合は工事現場の兼任を認めるものとする。

なお、専任の主任（監理）技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、(2)、(4)、(5)の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。

- (1) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4,500万円未満であること。ただし、設計変更により、工事の請負金額が4,500万円以上となり、各々の工事における主任（監理）技術者と現場代理人が異なる場合においては、受発注者協議の上、兼任することが出来る。
- (2) 発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡をとれること。
- (3) 兼任する工事の相互の移動は、概ね1時間以内であること。
- (4) 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。
- (5) 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。
- (6) 兼任する現場代理人は、必ず担当する工事現場のいずれに常駐するとともに、それぞれの現場稼働日は重複しないこと。

※ 建築工事一式工事は、9,000万円

2 手続き

現場代理人の兼任を行う場合には、「兼任（変更）申請書」（別紙1）を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、「現場代理人等選任（変更）通知書」により、発注者に通知すること。

なお、各々の工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。

3 受注者に対する措置請求

安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置をとるべきことを請求するものとする。

（施工体制台帳の作成等について）

第14条 本工事の請負者は、建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事の着手前までに）提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。

（施工体系図の作成等について）

第15条 本工事の請負者は、工事を施工するために、建設工事の一部または以下のアからエの業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事または業務の着手前までに）提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。

ア 伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務

- イ 土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務
- ウ 工事現場の警備（交通誘導を含む）を行う業務
- エ その他監督職員が記載を指示した業務等

第2章 工事の施工

（国土調査の基準点等測量標識等の保全）

第16条 施工区域内に国土調査の基準点等測量標識等がある場合は、その取り扱いについて監督職員に指示を仰ぐとともに、施工前に設置者と協議すること。

第17条 コンクリート工

コンクリートは下記のとおりとする。

種別	基準強度	スランプ	最大粒径	使用箇所

第18条 本工事の施工にあたっての施工条件を下記に明示するので、請負者は、施工計画書の作成及び工事施工時において、十分留意するものとする。

なお、明示した施工条件に変更が生じた場合は、契約変更の対象とする。また、工事実施期間中に発生した施工条件についても、甲・乙協議し契約変更の対象とする。

- 1 工事着手前に地元区長及び地域住民に対して周知を図ること。

（管内（県内）建設業者の優先使用）

第19条 請負業者は、工事の一部を下請けに付する場合は、北薩地域振興局管内に主たる営業所を有する者を使用するよう努めることとする。

（県産資材の優先使用について）

第20条 工事に使用する資材については、県内で産出、生産または製造されたもの（以下「県産資材」という。）の優先使用に努めることとし、さらに、県産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から調達するよう努めることとする。

- 1 再生切込砕石については、原則として、かごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。

資 材 名	規 格	備 考
再生切込砕石 （かごしま認定リサイクル製品）		

第21条 再生資源利用計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場合に掲げなければならない。

第22条 工事等の施工にあたって要する物品等の調達について

- 1 資材、機械の購入や借入れ等をする場合は、可能な限り阿久根市内業者を優先して活用すること。
- 2 建設現場内における飲食のほか、現場事務所内で必要とされる事務用品等の購入は可能な限り阿久根市内業者から購入すること。

本工事は建設リサイクル法に規定されている特定建設資材及び特定建設資材廃棄物が含まれているので、適正な措置を講ずること。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

①分別解体等の方法

(参考)

工 程 毎 の 作 業 内 容 ・ 解 体 方 法	工 程	作業内容	分別解体等の方法（＊）
	①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

＊「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

②再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地	運搬距離
コンクリート	㈱ツカサ	阿久根市鶴川内	L=17.1km
アスファルト	㈱西園機動建設	出水市野田町	L=21.7km

＊上記②については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

（建設副産物の処理）

第23条 建設工事の施工により発生する指定副産物（コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、建設発生木材、汚泥等、（建設発生土は除く））のうち、コンクリート殻（無筋）については30 cm以下に小割りして盛土区間で使用すること。その他については再資源化施設へ搬出すること。また、運搬に先立っては受け入れ条件等を確認し、発注者に報告するものとする。

2 再生資材の利用

請負者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

資 材 名	規 格	備 考
再生加熱アスファルト混合物	アスファルト	

なお、使用に際し、「プラント再生舗装技術指針」等を遵守すること。

- 3 工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議の上、その指示によること。

第24条 再生資源利用促進計画

受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設発生汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第25条 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の提出

本工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録（E票の写し及び産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表(別添様式1)）を工事完成図書に添付すること。

なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。

ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。

（産業廃棄物税）

第26条 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

（建設発生土の処理）

第27条 本工事の施工により発生する建設発生土は、下記の条件により積算している。

- (1) 受入場所の名称：
- (2) 受入場所の所在地：
- (3) 受入時間帯：
- (4) 仮置き等：
- (5) 搬出土の土質：
- (6) 搬出土量：
- (7) 搬出距離、時間：

※上記については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

- 2 「再生資源利用促進計画書」を作成し、施工計画書に含めて提出するとともにその内容を発注者に説明すること。
- 3 再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲げること。

- 4 再生資源利用促進計画の記載事項に変更が生じた場合は、速やかに変更し、その内容を発注者に報告すること。
- 5 工事完成後、速やかに再生資源利用促進計画の実施状況の記録及び「建設発生土受領書」を完成書類に含めて提出すること。
- 6 再生資源利用促進計画及びその実施状況の記録を工事の完成後5年間保存すること。
- 7 土質試験が必要な場合は、試験項目や回数について搬出先と双方協議し決定すること。
- 8 工事発注後にやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督職員と協議の上、その指示によること。

(過積載等の防止)

第28条 ダンプトラック等による過積載等の防止について以下のことを遵守すること。

- (1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。
- (4) さし柵の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。
- (5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下法という)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
- (7) 第1号から第6号のことにつき、下請契約における請負者を指導すること。

(路上工事縮減期間)

第29条 路上工事縮減期間は、「鹿児島県域の路上工事縮減に関する行動計画」により、緊急対応等やむを得ない工事及び一時的な通行規制解除が困難な工事を除き、原則として路上工事(既に供用中の道路上で行われる、道路管理者及び占用企業者が行う通行規制を伴う工事)を中止することとする。工事中止期間については、予定であるため、詳細な日程が決まり次第、請負者に通知するものとする。

第3章 その他

(暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置)

第30条 阿久根市が発注する建設工事等(以下「市工事等」という。)において、暴力団関係者による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく市(発注者)及び警察に通報すること。市工事等において、暴力団関係者による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、市(発注者)と協議を行うこと。

(ヤンバルトサカヤスデのまん延防止)

第31条 ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬出入に当たっては、別添「ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について」を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの棲息が確認された場合は、まん延防

止対策を講ずる必要があるため、棲息状況等の調査を行い、監督職員に報告すること。

(工事現場の現場環境改善の実施)

第32条 工事現場の現場環境改善は、地域との積極的なコミュニケーションを図りつつそこで働く関係者の意識を高めるとともに、関係者の作業環境を整えることにより公共事業の円滑な執行に資することを目的とするものである。よって、請負者は施工に際し、この趣旨を理解し発注者と協力しつつ地域との連携を図り、適正に工事を実施するものとする。

- 2 現場環境改善の内容については、[別表－1]の内容のうち原則として各費目ごと（仮設備関係、営繕関係、安全関係、地域とのコミュニケーション）に1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）の合計5項目以上を実施するものとする。
- 3 現場環境改善においては、木製資材の積極的な使用に努めること。
- 4 現場環境改善については具体的な内容、実施時期について、施工計画書に含め提出するものとする。
- 5 工事完了時には、現場環境改善の実施写真を提出するものとする。
- 6 工期設定に関しては、現場環境改善の準備に必要な期間を考慮するものとする。

(熱中症対策に資する現場管理費の補正について)

第33条 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行対象工事である。

- 2 試行にあたっては、「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について」に基づき行うものとする。
- 3 「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について」は阿久根市ホームページから取得できる。

(建設現場における「快適トイレ」設置の試行について)

第34条 「快適トイレ」設置について

本工事は、阿久根市の建設現場における「快適トイレ」設置の試行対象工事である。

受注者は積極的に快適トイレの試行に取り組むこと。

快適トイレを設置する場合は、『阿久根市の建設現場における「快適トイレ」設置の試行要領』に基づき行うものとする。なお、試行要領は阿久根市ホームページから取得できる。

(法定外の労災保険の付保に係る設計図書への明示等について)

第35条 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

(週休2日)

第36条 本工事は、「週休2日」試行工事（受注者希望型）の対象である。

- 2 試行にあたっては、『「週休2日」試行工事実施要領』に基づき行うものとする。
- 3 実施要領は、阿久根市ホームページから取得できる。

(環境改善実施要領について)

第37条 本工事の実施にあたっては、「環境改善実施要領（工事現場編）」に基づき、受発注者相互に協力し、取り組むものとする。

[別表－1]

計上費目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実 6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女子更衣室の設置を含む） 2. 労働宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘導警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域とのコミュニケーション	1. 完成予想図 2. 工法説明図 3. 工事行程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献

【別添】

ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について

1 土・樹木等の措置

(1) 発生地区からの搬出を極力抑えることを原則とする。

(2) 廃棄樹木等については、一般廃棄物、産業廃棄物が取扱いが可能な焼却施設で焼却処理する。

一般廃棄物：市町村の所管する焼却施設、業の許可を有している民間の焼却施設

産業廃棄物：業の許可を有している民間の焼却施設（産業廃棄物税が発生します。）

2 工事区域周辺部の措置

周辺部への拡散を防止するため、周辺部に薬剤散布等の措置を行う。

3 やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合の措置

(1) 薬剤処理・薫蒸処理後、搬出する。

(2) 薬剤処理の困難な農作物等の搬出の場合は、付着土壌の除去、目視除去後、搬出する。

4 発生地区に搬入した建設機材や農・林業工作機械の措置

付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出する。

5 未発生地区での措置

発生地区からの土・樹木等の搬入や農・林業工作機械の移動等があった場合は、上記1～3の措置が講じられているかを確認する。

※奄美群島以外でヤンバルトサカヤスデの発生が確認されている地区

H 1 1：南九州市（旧穎娃町、旧知覧町）、

H 1 4：指宿市（旧山川町）、屋久島町（旧屋久町）

H 1 5：鹿児島市（旧吉田町）、日置市（旧吹上町）、枕崎市

H 1 6：鹿児島市

H 1 7：指宿市

H 2 2：出水市、南さつま市

H 2 5：霧島市、阿久根市

H 2 6：鹿屋市、姶良市

H 2 9：長島町

R 0 3：西之表市、中種子町、錦江町

R 0 4：肝付町、薩摩川内市、いちき串木野市、南大隅町

R 0 6：大崎町

(別紙報告書)

安全・訓練等の実施状況報告書

[illegible]

(別紙 1)

工 事 打 合 簿

[illegible]

課長	技術 補佐	総 括 監督員	監督員

現 場 代理人	主 任 技術者

材料使用承認願

工 事 名

請 負 業 者 名

工 期

現場代理人

路線（河川名）

総括監督員

工事箇所名

監 督 員

[illegible]

別紙 1

令和 年 月 日

契約担当者

殿

請負者
商号又は名称
代表者の氏名

現場代理人の兼任（変更）申請書

下記工事について、現場代理人を兼任したいので（変更）申請します。
なお、両工事の施工に当たっては、関係法令等を遵守し、安全管理及び工程管理に
留意します。

記

①兼任する工事 (県土木部工事)	主任技術者		
	現場代理人		
	工事名		
	工事場所		
	工期		
	請負金額(税込み)		
	現場代理人不在の間の緊急連絡先	氏名	
		連絡先	
②兼任する他の工事	主任技術者		
	現場代理人		
	工事名		
	工事場所		
	工期		
	請負金額(税込み)		
	発注機関名		
	監督員氏名		
③兼任する他の工事	主任技術者		
	現場代理人		
	工事名		
	工事場所		
	工期		
	請負金額(税込み)		
	発注機関名		
	監督員氏名		
工事現場の相互の 距離・移動時間	①-②	km	分
	①-③	km	分
	②-③	km	分

○添付書類：兼任する他の工事の当初契約書（写し）（※契約前の工事については後日提出）

○兼任する他の工事について、兼任の承認を受けていることがわかる書類の写しを後日提出すること

工 事 名 :
工 事 場 所 :
請 負 者 名 :
現場代理人氏名 :

※1 廃棄物の品目毎に作成すること。

2 収集業者と運搬業者、中間処理業者と最終処分業者が異なる等の場合は、適宜項目を追加し作成すること。

3 E票が処分業者より返送されていない場合は、直近に返送された管理票の確認日を備考欄に記載すること。

「認定証」サンプル

第4号様式（第6条関係）

認定番号 鹿リ認第 号

かごしま認定リサイクル製品認定証

製品名：RC-40
(品目：土木建築関係製品)

製造者：株式会社

所在地

法人代表者 代表取締役

上記の製品は、かごしま認定リサイクル製品認定制度実施要綱第6条により認定された製品であることを証する。

令和元年10月7日

鹿児島県知事 三反園 訓



認定の年月日	令和元年10月7日
認定の有効期限	令和7年3月31日
製造事業所及び所在地	
製品の原材料となる産業廃棄物の種類	がれき類
配合の比率	コンクリート塊100%
審査に用いた品質基準	鹿児島県土木工事共通仕様書（「第2編材料編 第2章土木工事材料 第3節骨材 2-2-3-3アスファルト舗装用骨材」及び「第3編土木工事共通編 第2章一般施工 第6節一般舗装工 3-2-6-3アスファルト舗装の材料」の再生碎石及び下層路盤材の適合条件）
主な用途	路盤材、基礎材、裏込材、埋戻材
その他	認定リサイクル製品の製造・加工の工程については、鹿児島県のホームページ及び一般社団法人鹿児島県産業資源循環協会のホームページにおいて掲載

【認定制度担当部署】
鹿児島県環境林務部
廃棄物・リサイクル対策課
(リサイクル推進係)

(受領書記載例)

令和〇年〇〇月〇〇日

(搬出元)

株式会社 ○〇〇建設
〇〇 〇〇 殿

(搬出先)

●●●●●処分場
代表取締役 ●● ●●●

建設発生土受領書

- 搬出先の名称及び所在地 : ●●●●●処分場
鹿児島県●●●市〇〇〇町〇〇番地●地内
- 搬出先の管理者の商号, 名称 : 株式会社 ○〇〇〇〇
- 搬出元の名称及び所在地 : 道路改築工事 (●●工区)
鹿児島県●●●市〇〇〇町〇〇番地●地内
- 土砂の搬出量 : 第1種建設発生土 約〇〇,〇〇〇m³
- 搬入が完了した日 : 令和〇年〇〇月〇〇日

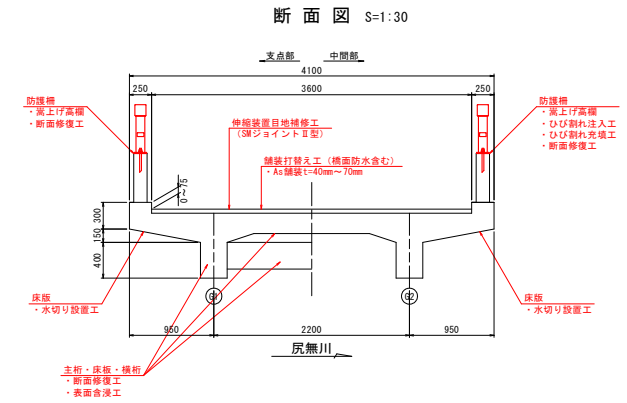
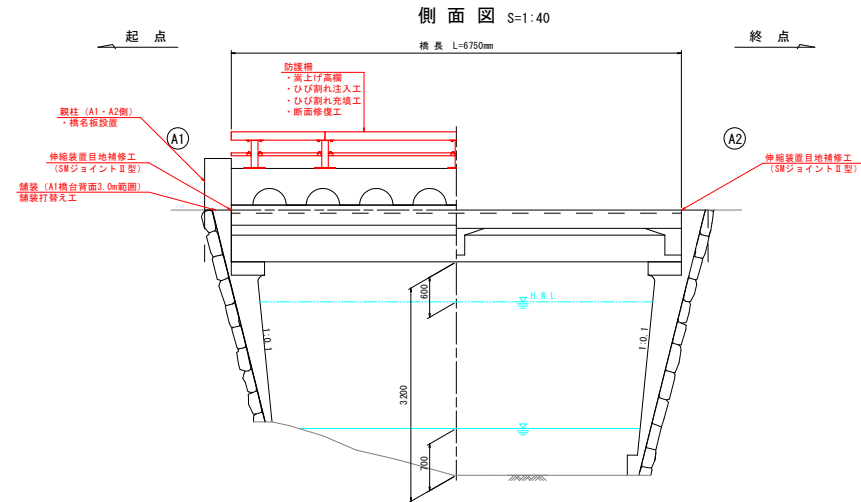
阿久根市全図

1 : 50,000 地形図

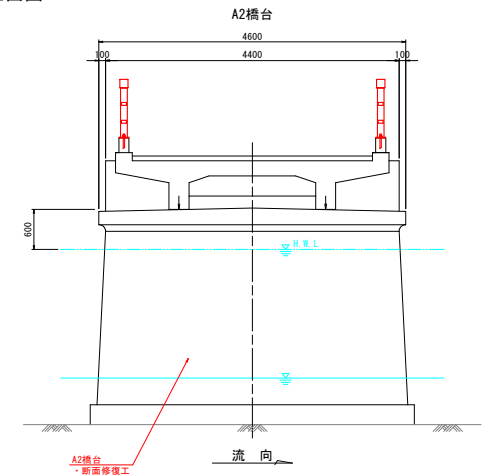
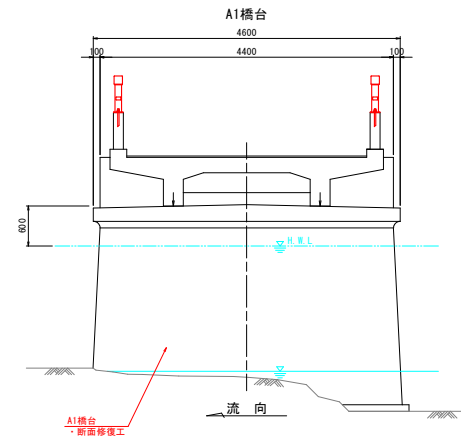
令和7年度 道路メンテナンス事業 小麦橋修繕工事 位置図



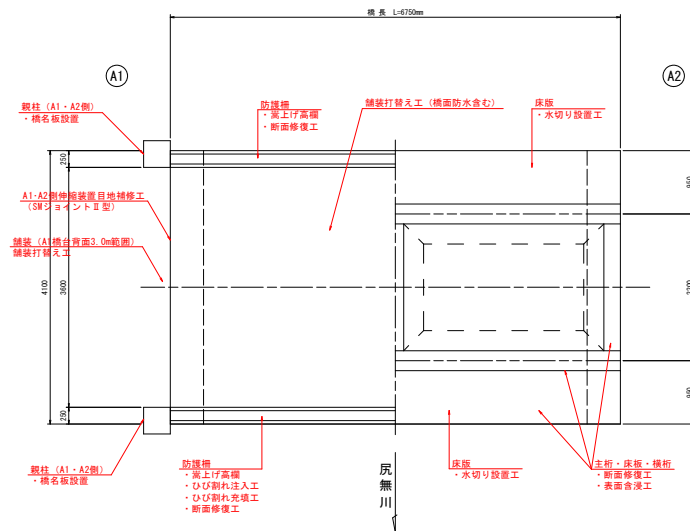
小麦橋 補修計画一般図



下部工正面図 S=1:40



平面図 S=1:40



補修内容一覧

部 位	補 修 内 容	備 考
上部工	主 桁	断面修復工 ポリマーセメントモルタル 添え筋 D22 (SD345)
	横 桁	断面修復工 ポリマーセメントモルタル
	床 版	断面修復工 ポリマーセメントモルタル 水切り設置 軟質PVC (縁付け接着タイプ)
	主桁・床版・横桁	表面含浸工 シラン系含浸材 (吸水防止型)
橋面工	橋 台	断面修復工 ポリマーセメントモルタル
	舗 装	舗装打替え工 As舗装t=40mm~70mm A1橋台背面部 (3m範囲) 橋面防水 塗膜系防水
	防護欄	防護欄嵩上げ工 嵩上げ高欄
		ひび割れ注入工 エポキシ樹脂3種
		ひび割れ充填工 シーラント系
		断面修復工 ポリマーセメントモルタル
	伸縮装置工	伸縮装置目地補修工 SMジョイントII型
	縦柱工	横名板設置工 300×200×13 ブロンズ製

注記)
1. 尻無川の河川定規断面は不明であり、
図に示すH.W.L.は推定である。

実施設計図

阿 久 根 市	
工 事 名	令和7年度道路メンテナンス事業小麦橋修繕工事
路 線 名	市道 大角線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	小麦橋 補修計画一般図
縮 尺	図 示
図面番号	全 10 葉 第 1 号

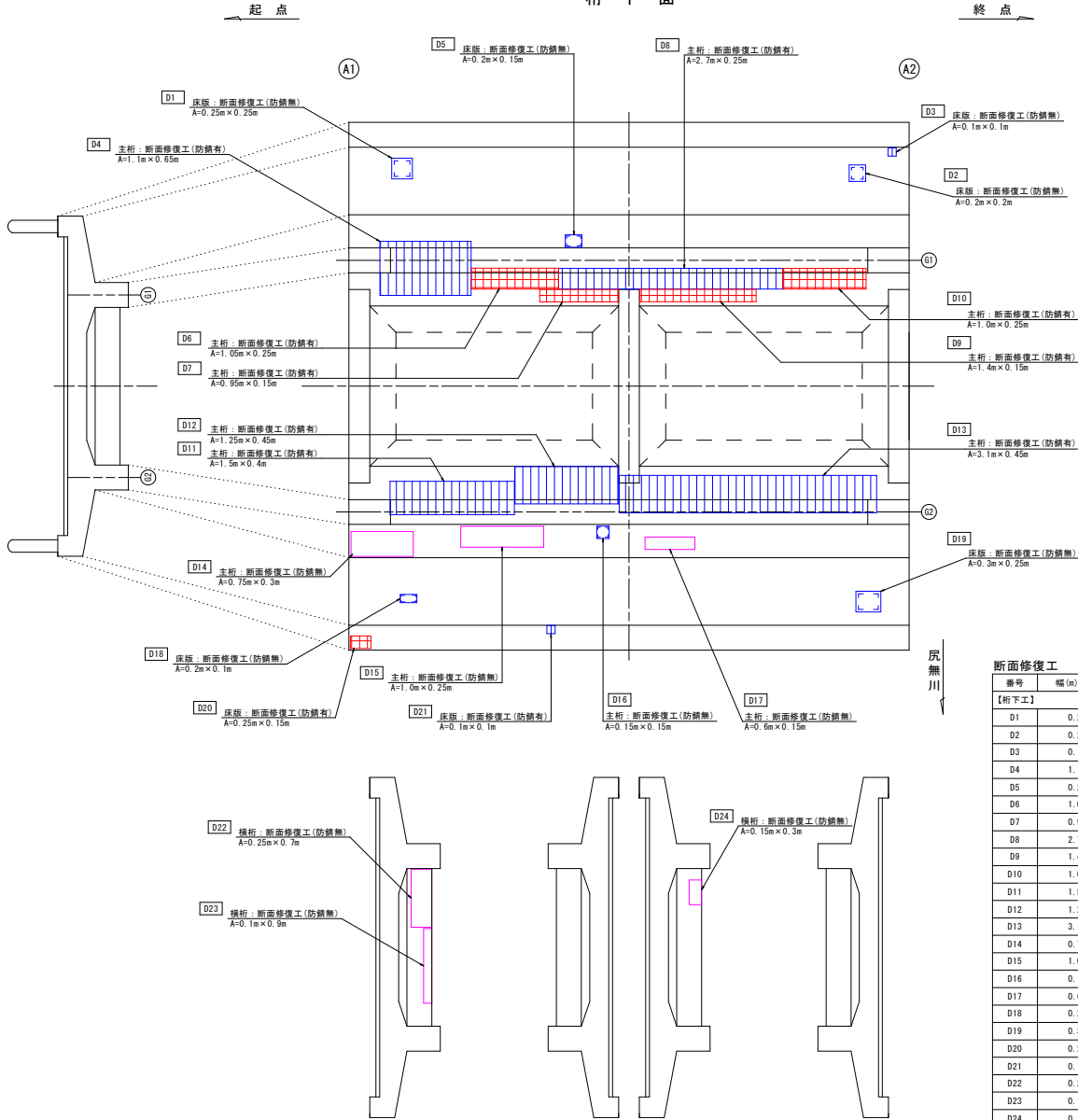
小麦橋 桁下補修図

S=1:30

桁 下 面

起 点

終 点



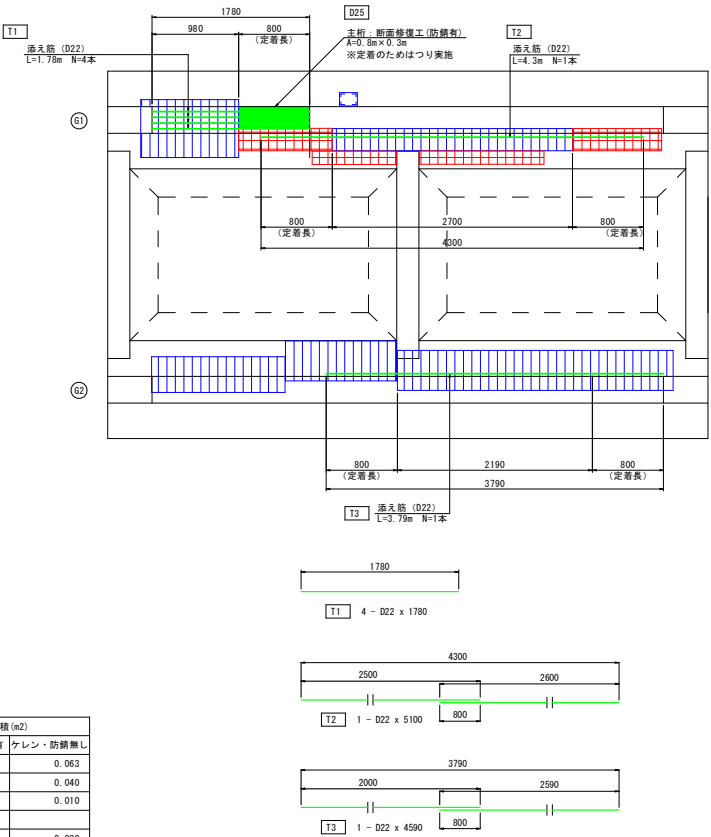
断面修復工

【桁下工】	番号	幅 (m)	延長 (m)	箇所	面積 (m2)	
					ケレン・防錆有	ケレン・防錆無し
	D1	0.250	0.250	1		0.063
	D2	0.200	0.200	1		0.040
	D3	0.100	0.100	1		0.010
	D4	1.100	0.650	1	0.715	
	D5	0.200	0.150	1		0.030
	D6	1.050	0.250	1	0.263	
	D7	0.950	0.150	1	0.143	
	D8	2.700	0.250	1	0.675	
	D9	1.400	0.150	1	0.210	
	D10	1.000	0.250	1	0.250	
	D11	1.500	0.400	1	0.600	
	D12	1.250	0.450	1	0.563	
	D13	3.100	0.450	1	1.395	
	D14	0.750	0.300	1		0.225
	D15	1.000	0.250	1	0.250	
	D16	0.150	0.150	1	0.023	
	D17	0.600	0.150	1	0.090	
	D18	0.200	0.100	1	0.020	
	D19	0.300	0.250	1	0.075	
	D20	0.250	0.150	1	0.038	
	D21	0.100	0.100	1	0.010	
	D22	0.250	0.700	1	0.175	
	D23	0.100	0.900	1	0.090	
	D24	0.150	0.300	1	0.045	
	D25	0.300	0.800	1	0.240	
	修復面積 合計				5.102	1.136
	断面修復材 (m3)		修復率	50 mm		
					0.255	0.057

※ 断面修復材：ポリマーセメントモルタル

※ 推定修復率：50mm

添え筋配置図



鉄筋表 (SD345)

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	形状
T 1	D 22	1780	4	3.04	5.41	22	—
2	D 22	5100	1	3.04	15.50	16	—
3	D 22	4590	1	3.04	13.95	14	—
合 計							D 22 52 kg

- 注記)
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行うこと。
2. 鉄筋が著しく腐食し破断に至るような鉄筋に対して添え筋を行うこと。
3. 定着長は $L = 200 / (4 \times 1.4) \times \phi (22) = 786 \text{mm} \approx 800 \text{mm}$ とする。

実施設計図

阿 久 根 市

工 事 名	令和7年度道路メンテナンス事業小麦橋修繕工事
路 線 名	市道 大角線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	小麦橋 桁下補修図
縮 尺	図 示
図面番号	全 10 葉 第 2 号

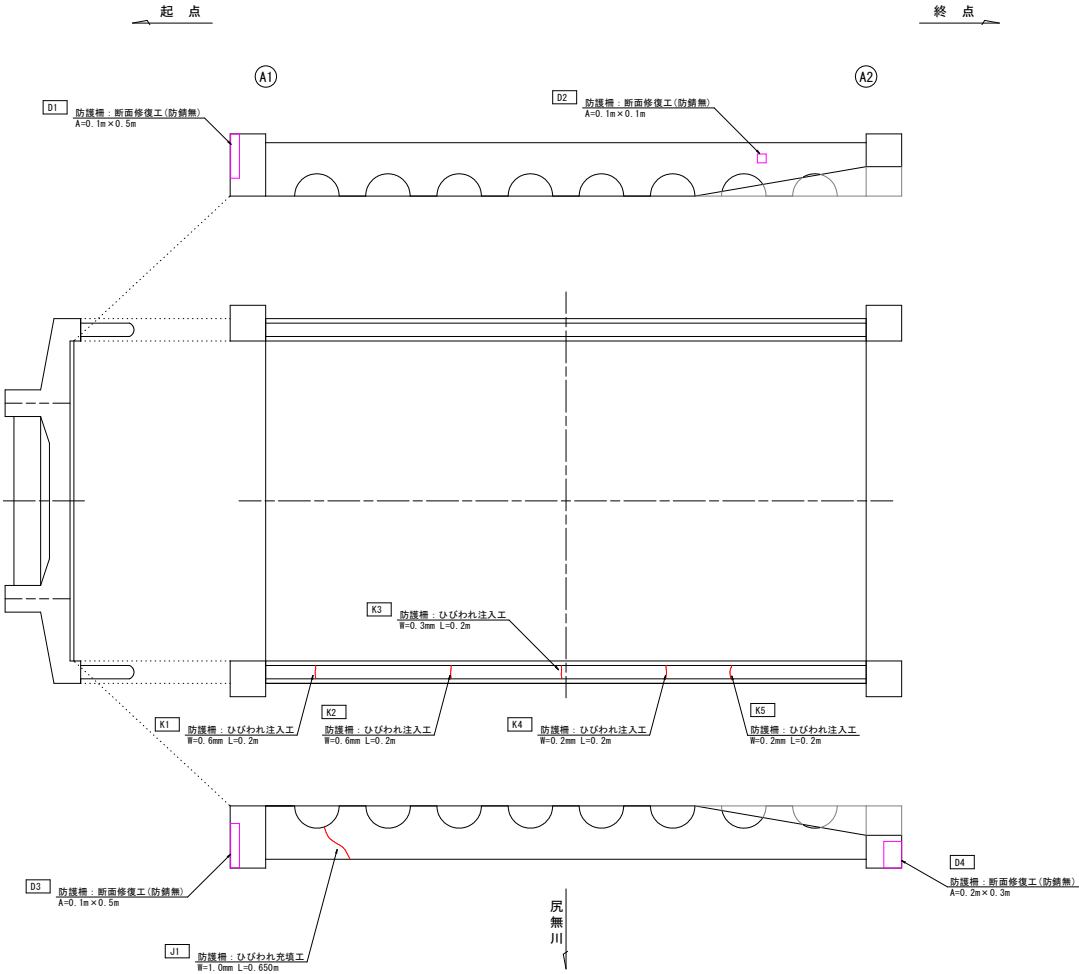
損 傷 の 凡 例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		漏 水	
剥 離		腐 食	
鉄筋露出		う き	
遊離石灰		そ の 他	

- 注記)
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行うこと。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから現場施工時数量精査を行うこととする。

小麦橋 橋面補修図（その1） S=1:30

橋 面 図



断面修復工		面積 (m2)			
番号	幅 (m)	延長 (m)	箇所	ケレン・防錆有	ケレン・防錆無し
【橋面工】					
D1	0.100	0.500	1		0.050
D2	0.100	0.100	1		0.010
D3	0.100	0.500	1		0.050
D4	0.200	0.300	1		0.060
修復面積 合計					0.170
断面修復材 (m3)		修復厚	50 mm	0.009	

※ 断面修復材：ポリマーセメントモルタル
※ 推定修復厚：50mm

ひびわれ注入工（0.2mm以上～1.0mm未満）				
番号	幅 (mm)	箇所	延長 (m)	合計延長 (m)
【橋面工】				
K1	0.600	1	0.200	0.200
K2	0.600	1	0.200	0.200
K3	0.300	1	0.200	0.200
K4	0.200	1	0.200	0.200
K5	0.200	1	0.200	0.200
ひびわれ幅0.2 mm 合計				0.400
ひびわれ幅0.3 mm 合計				0.200
ひびわれ幅0.6 mm 合計				0.400
延長 合計				1.000

※ ひびわれ注入材：エポキシ樹脂3種
※ ひびわれ深さ：50mm（推定値）

ひびわれ充填工（1.0mm以上）			
番号	延長 (m)	箇所	合計延長 (m)
【橋面工】			
J1	0.650	1	0.650
合計			0.650

※ ひびわれ充填材：シーラント系

注記)
1. 着工前には必ず現況寸法調査を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行うこと。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから
現場施工時数量精査を行うこととする。

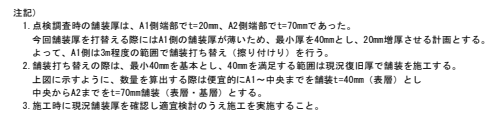
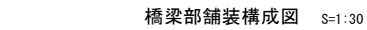
損 傷 の 凡 例			
損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		漏 水	
剥 離		腐 食	
鉄筋露出		う き	
遊離石灰		そ の 他	

阿 久 根 市	
工 事 名	令和7年度道路メンテナンス事業小麦橋修繕工事
路線 名	市道 大角線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	小麦橋 橋面補修図（その1）
縮 尺	図 示
図面番号	全 10 葉 第 3 号

S=1 : 30

断面图 S=1:30

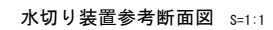
起 点 終 点



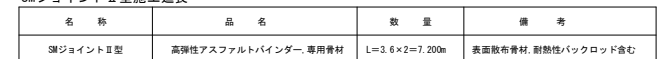
部位	幅員 (m)	延長 (m)	箇所	面積 (m2)
A1側	3.600	3.000	1	10.800
面積 合計				10.800

注記)

1. 親柱に橋名板4枚設置すること
2. 橋名板の形状・規格は現地状況にあわせ監督と協議のうえ決定すること。
A2側の親柱は、舗装で埋もれているので橋名板は車道側に設置してもよい。



伸縮装置目地補修工
(SMジョイントⅡ型) S=1:2



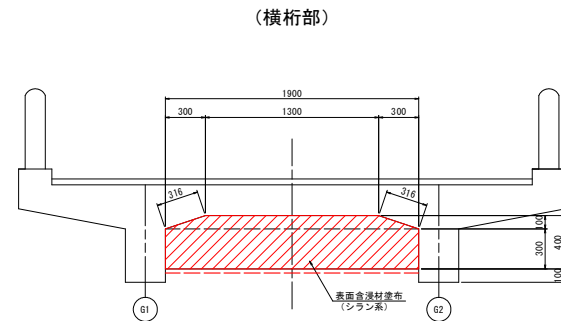
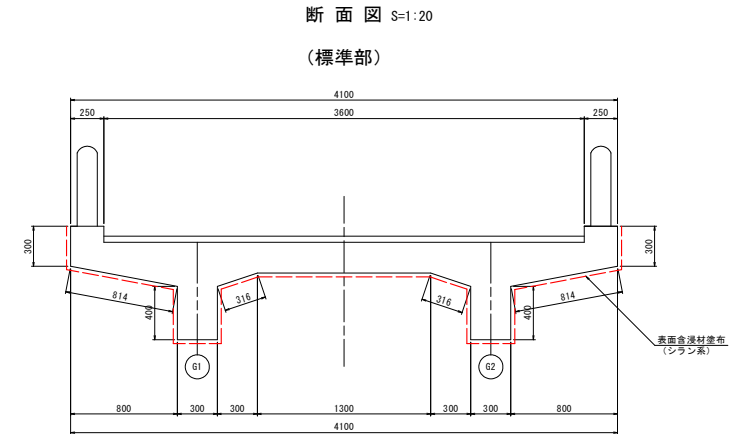
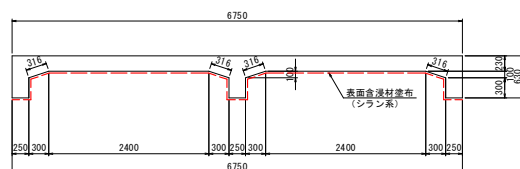
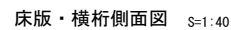
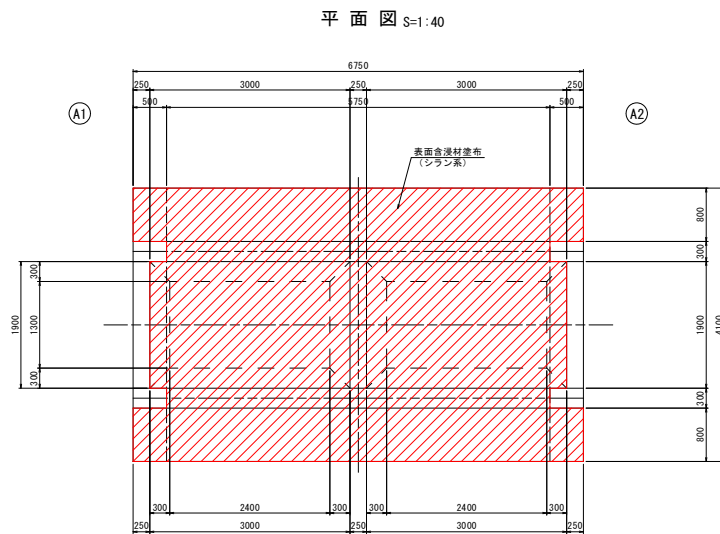
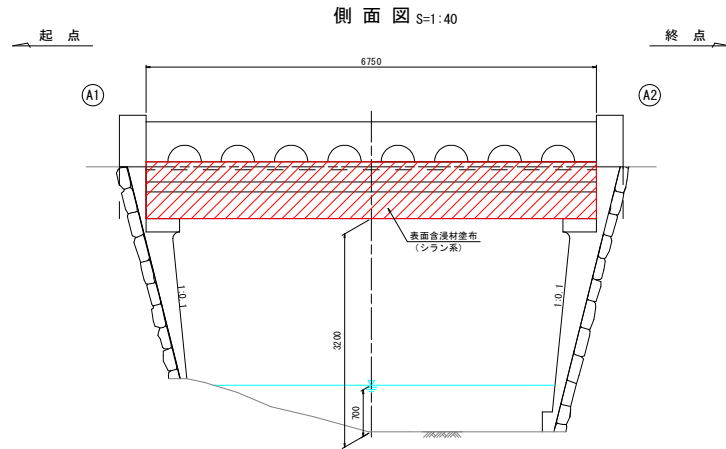
阿久根市	
工 事 名	令和7年度道路メンテナンス事業小ま橋修繕工事
路 線 名	市道 大角線
工事箇所	阿久根市 大川 内地
図面種類	小ま橋 橋面補修図（その2）
縮 尺	図 示
図面番号	全 10 葉 第 4 号

S=1:40

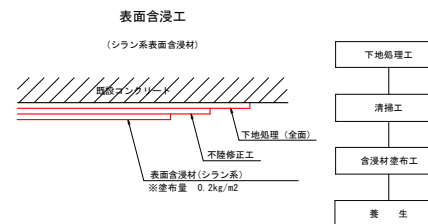
上流側側面図

 実施設計書 阿久根市	
工事名	令和7年度道路メンテナンス事業小ま橋補修工事
路線名	市道 大角線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	小ま橋 下部工補修図
縮尺	図示
図面番号	全 10 葉 第 5 号

小麦橋 表面含浸工詳細図



補修概要図



- ※1. 表面塗装工は中性化対策を目的とし、仕様材料は(社)土木学会 表面保護工法設計施工指針(第)のグレードを満する製品とすること。
- ※2. 面層修理として、面層修復工・ひびわれ補修工・変面全面の地下処理・不陸修平を行うこと。
- ※3. 地下処理とはコンクリート面層にわたしたランサンレーザを実施し、腐蝕面を除去するものであること。
- ※4. 施工にあたっては、施工範囲を決定したうえで、材料調達業者の定める施工手順に従うこと。
- ※5. 表面塗装材料を数箇所に分けて仕入れる場合、変面工種関係間とは製造業者の指定する方法に従うこと。
- ※6. 材料基準・仕様・工法等は(社)土木学会 表面保護工法設計施工指針(第)に準拠すること。
- ※7. 表面塗装材料はランサン系(吸放熱防止)とすること。

参考仕様例（シラン系吸水防止型）

工 程		標準使用量 (kg/m ²)	施工方法	塗重ね 工程間隔
素地調整・下地処理		別 途	—	
下地の確認および清掃		別 途	—	—
1	シラン系 表面含浸材含浸	0.20	噴霧 ローラー 刷毛塗り	

注1. 材料基準・仕様・施工等は、(社)土木学会 表面保護工法設計施工指針(案)に準拠す
使用量・施工方法については、製品確認を行い決定すること。

注記)
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量等の確認の後、施工を行うこと。

実施設計図

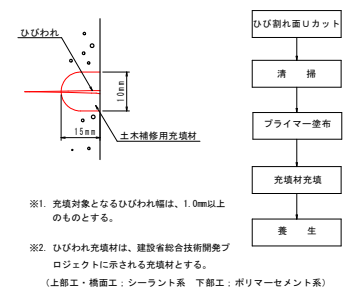
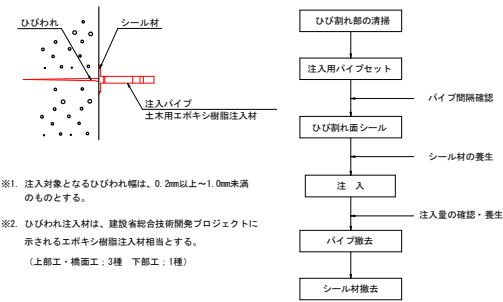
阿久根市	
工事名	令和7年度道路メンテナンス事業小ま橋修繕工事
路線名	市道 大角線
工事箇所	阿久根市 大川 内地
図面種類	小ま橋 表面含浸工詳細図
縮尺	図示
図面番号	全 10 葉 第 6 号

小麦橋 補修標準図

ひびわれ補修工

ひびわれ充填工法

ひびわれ注入工法



補修材の要求性能

(この要求性能を参考として、同等品と認められる材料を選定するものとする)

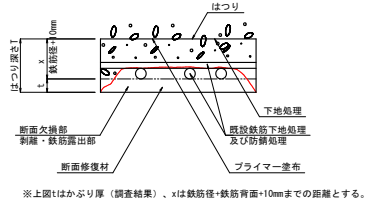
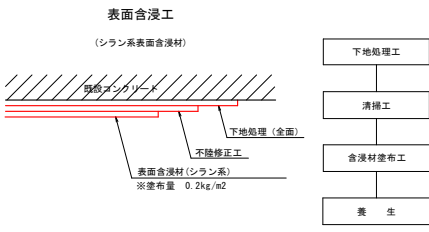
ひびわれ補修材の性能例		材料の種類					(試験温度 20℃)	
		注 入 材		充 填 材			A, B	
項目	単位	1種	2種	3種	ポリマーセメント系	シーラント系		
ひびわれ進行区分		B		A	B	A, B		
ひびわれ幅(mm)		0.2～5.0		5.0<				
粘 度	gpa	1,000以下	4±(注-1)	1,000以下	10,000以下	だれを要めず		
可塑時間	分	30以上	30以上	30以上	30以上	240以上		
硬化時間	時間	16以内	16以内	24以内	16以内	24以内		
硬化収縮	%	0.1以下	0.1以下	0.1以下	0.1以下	—		
伸 び 率	%	—	50以上	100以上	—	800以上		
モルタル付着	適さ	kg/㎡	60以上	60以上	60以上	60以上	たわみ量10mm以上で破壊すること	
付着の耐久性	試験法	%	60以上	60以上	60以上	60以上	60以上	
(注-2)								

※注-1 チキソロビック係数 2rpm/20rpmの粘度で表す。
※注-2 規格に対する百分率

出典：「国建設省総合技術開発プロジェクト・土木研究センター」

表面含浸工

断面修復工法



補修材の要求性能

(この要求性能を参考として、同等品と認められる材料を選定するものとする)

ポリマーセメントモルタルの性能例		施工方法		左官		吹付け		覚えて
硬化性		普通		速硬		普通		普通
弾塑性		普通	軽量	普通	軽量	普通	軽量	普通
単位容積質量(kg/l)		1.8～2.2	1.3～1.6	1.8～2.1	1.5～2.2	2.1～2.2	2.1～2.2	2.1～2.2
フロー		120～160	110～150	120～160	140～250	～300	～300	～300
硬化時間(h)		3～8	3～10	0.5～2	3～8	4～15	4～15	4～15
圧縮強度(N/mm2)	材齢 3h	—	—	3～15	—	—	—	—
	材齢 1d	5～25	3～25	10～30	5～15	5～10	5～10	5～10
	材齢 7d	20～40	5～30	20～40	20～40	15～40	15～40	15～40
	材齢 28d	25～60	10～35	25～40	30～60	25～50	25～50	25～50
付着強度(N/mm2)	標準	1.8～3.4	1.8～2.6	2.0～2.8	2.0～3.5	2.0～2.3	2.0～2.3	2.0～2.3
弾性係数(kN/mm2)		16～21	12～15	13～21	14～21	17～21	17～21	17～21
引張強度(N/mm2)		3～6		200～1000				
収縮率(×10-6)		8～17		9～13		10～15		9～17
熱膨張率(×10-6/℃)		8～17		9～13		10～15		9～17

※注-1 層間プライマーと補修材の付着強度 1.0N/mm2以上を確保すること。
※注-2 層間プライマーと補修材の付着強度 1.0N/mm2以上を確保すること。

出典：「表面保護工法 設計施工指針(案) 土木学会」

参考仕様例(シラン系防水止型)

工 程	標準使用量(kg/㎡)	施工方法	塗重ね工程関係
素地調整・下地処理	別 途	—	—
下地の確認および清掃	別 途	—	—
1 シラン系表面含浸材含浸	0.20	噴霧ローラー刷毛塗り	

※1. 表面含浸工は中性化対策を目的とし、仕修材料は(社)土木学会 表面保護工法設計施工指針(案)のグレードAを満足する製品とすること。

※2. 前処理として、断面修復工・ひびわれ補修工・塗布面全面の下地処理・不陸修正を行うこと。

※3. 下地処理とはコンクリート表面全体にわたりサンダーケレンを実施し、脆弱部を除去するものとする。

※4. 施工にあたっては、施工範囲を決定したうえで、材料製造業者の指定する施工手順に従って行うこと。

※5. 表面含浸材を数回に分けて含浸する場合、塗重ね工程関係などは製造業者の指定する方法に従うこと。

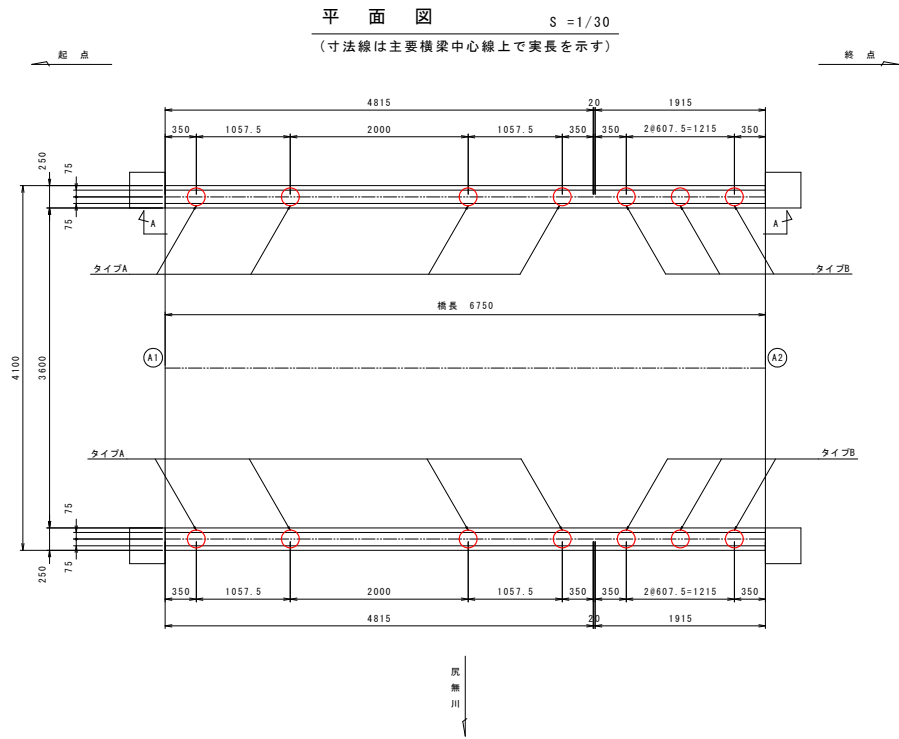
※6. 材料基準・仕様・施工等は、(社)土木学会 表面保護工法設計施工指針(案)に準拠すること。

※7. 表面含浸材はシラン系(吸水防止型)とすること。

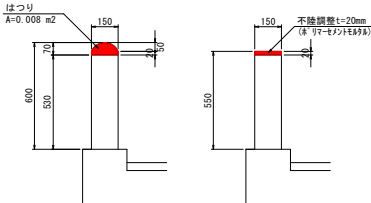
実施設計図

阿久根市	
工 事 名	令和7年度道路メンテナンス事業小麦橋補修工事
路 線 名	市道 大内線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	小麦橋 補修標準図
縮 尺	図 示
図面番号	全 10 葉 第 7 号

小麦橋 嵩上げ高欄詳細図（その１）

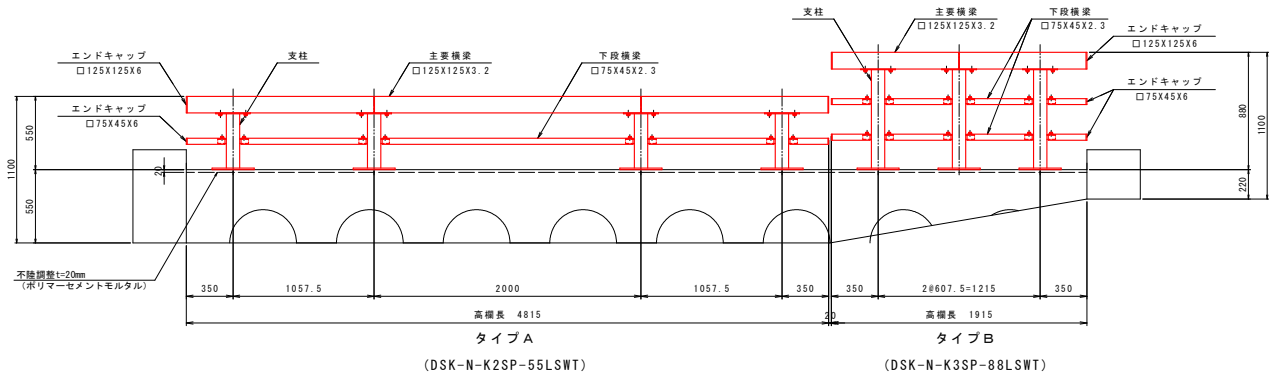


現況防護欄天端処理 $S = 1/15$



※嵩上げ高欄を設置するため、現況防護欄の設置面をフラットに成形する
また、不陸調整・高さ調整のためt=20mmポリマーセメントモルタル施工を行う

高欄取付図 $S = 1/20$
A - A 矢視



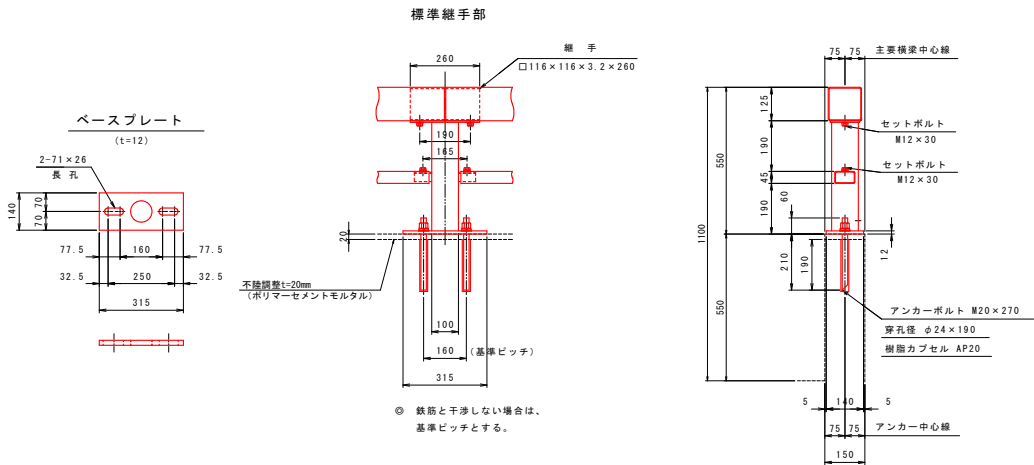
注記)
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行うこと。
2. 現況実測後に、適宜検討のうえ部材製作を行い、施工を実施すること。

実施設計図	
阿久根市	
工事名	令和7年度道路メンテナンス事業小麦橋修繕工事
路線名	市道 大角線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	小麦橋 嵩上げ高欄詳細図（その1）
縮尺	図示
図面番号	全 10 葉 第 8 号

小麦橋 嵩上げ高欄詳細図（その2）

タイプA高欄詳細図 S=1/10

DSK-N-K2SP-55LSWT



タイプA 材料表

品名	寸法	材質	数量	単重	重量	備考
DSK-N-K2SP-55LSWT						
支柱	□100X100X4.5	STKR400	8	11.4 Kg/本	91	
主要横梁	□125X125X3.2X1995	STKR400	2	12.0 Kg/m	48	
主要横梁	□125X125X3.2X1399	STKR400	4	12.0 Kg/m	67	
下段横梁	□75X45X2.3X1880	STKR400	2	4.06 Kg/m	15	
下段横梁	□75X45X2.3X937.5	STKR400	4	4.06 Kg/m	15	
下段横梁	□75X45X2.3X284	STKR400	4	4.06 Kg/m	5	
継手	□116X116X3.2X260	SS400	4	2.95 Kg/コ	12	
エンドキャップ	□125X125X6	SPCC	4	0.93 Kg/コ	4	
エンドキャップ	□75X45X6	SPCC	4	0.26 Kg/コ	1	
セットボルト	M12X30 (B.N.W.SW)		4.8以上	16	0.05 Kg/本	1
セットボルト	M12X30 (B.N.W.SW)		4.8以上	16	0.07 Kg/本	1
アンカーボルト	M20X270 (B.N.W.SW)		4.6以上	16	0.77 Kg/本	12 71567750
					Σ =	272 kg
高欄長 = 9630						

タイプB 材料表

品名	寸法	材質	数量	単重	重量	備考
DSK-N-K3SP-88LSWT						
支柱	□100X100X4.5	STKR400	6	16.3 Kg/本	98	
主要横梁	□125X125X3.2X949	STKR400	4	12.0 Kg/m	46	
下段横梁	□75X45X2.3X487.5	STKR400	8	4.06 Kg/m	16	
下段横梁	□75X45X2.3X284	STKR400	8	4.06 Kg/m	9	
継手	□116X116X3.2X260	SS400	2	2.95 Kg/コ	6	
エンドキャップ	□125X125X6	SPCC	4	0.93 Kg/コ	4	
エンドキャップ	□75X45X6	SPCC	8	0.26 Kg/コ	2	
セットボルト	M12X30 (B.N.W.SW)		4.8以上	12	0.05 Kg/本	1
セットボルト	M12X30 (B.N.W.SW)		4.8以上	24	0.07 Kg/本	2
アンカーボルト	M20X220 (B.N.W.SW)		4.6以上	12	0.64 Kg/本	8 71567750
					Σ =	192 kg
高欄長 = 3830						

注記

- 表面処理 — — 亜鉛メッキ
- 支柱の製作勾配 — — 0%
- 鉄筋探索 — — 14箇所（支柱取付位置）

別途手配品

樹脂カプセルアンカー	数量
M20用 (AP20)	28

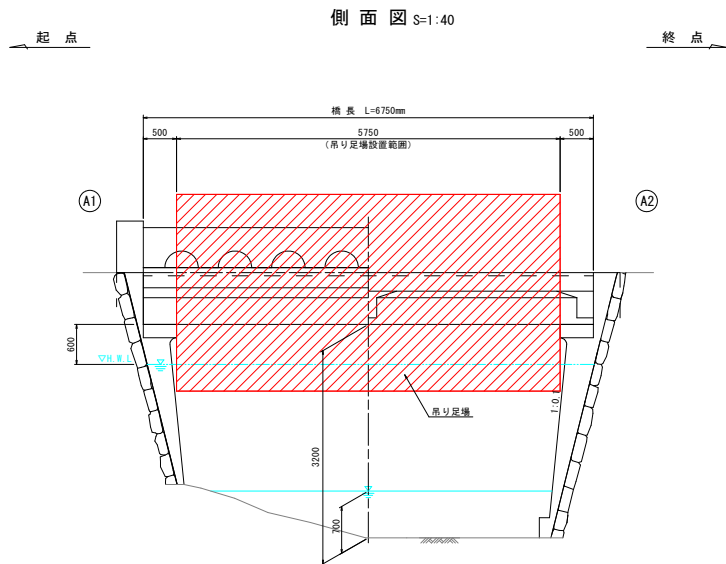
注記

- 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行うこと。
- 現況実測後、適宜検討のうえ部材製作を行い、施工を実施すること。
- 上部工に附孔・アンカーを打ち込む際は、鋼材を損傷しないよう鉄筋探索を行い、適宜検討の上で施工を実施すること。

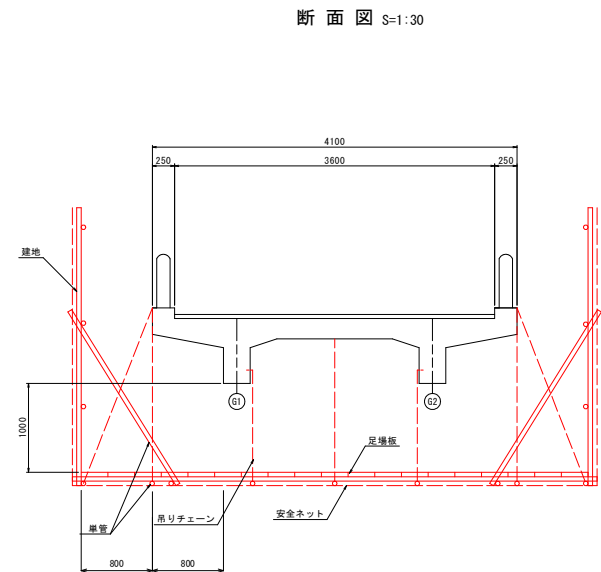
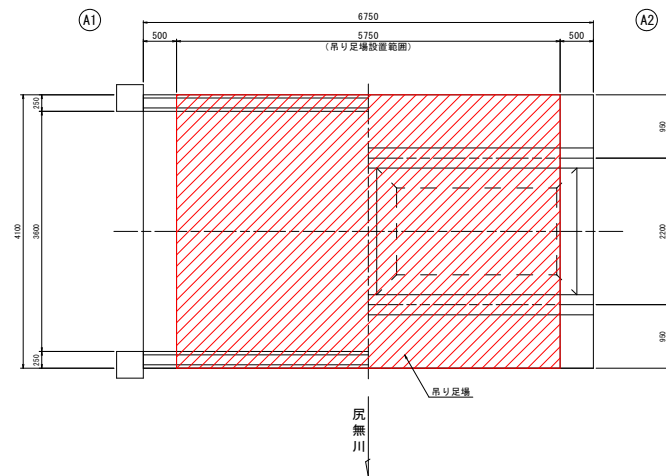
実施設計図

阿久根市	
工事名	令和7年度道路メンテナンス事業小麦橋修繕工事
路線	市道 大角線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	小麦橋 嵩上げ高欄詳細図（その2）
縮尺	図示
図面番号	全 10 葉 第 9 号

小麦橋 足場参考図



平面図 S=1:40



吊り足場面積			
部位	全幅員 (m)	延長 (m)	面積 (㎡)
A1-A2	4.100	5.750	23.575
面積 合計			23.575

※吊り足場面積 A=B (全幅員) × 必要長

全幅員：地置外縁間距離

※朝顔・板張り・シート張り防護工

- 注記)
1. 本図面は、参考図扱いであることから、施工の際は現地調査・状況や現況寸法実測を行い、図面・数量等の確認後、適宜検討の上で施工を実施すること。
 2. 底無川の河川定規断面は不明であり、図に示すH/Lは推定である。
 3. 補修用吊り足場は河川を侵す可能性があるため、施工前に河川管理者（鹿児島県）と協議を行い、所要の許可を得て工事着手すること。
 4. 吊り足場が河川を侵す可能性があることから、工事は湛水期に行うことが望ましい。

実施設計図

阿久根市	
工 事 名	令和7年度道路メンテナンス事業小麦橋修繕工事
路 線 名	市道 大角線
工事箇所	阿久根市 大川 地内
図面種類	小麦橋 足場参考図
縮 尺	図 示
図面番号	全 10 葉 第 10 号